

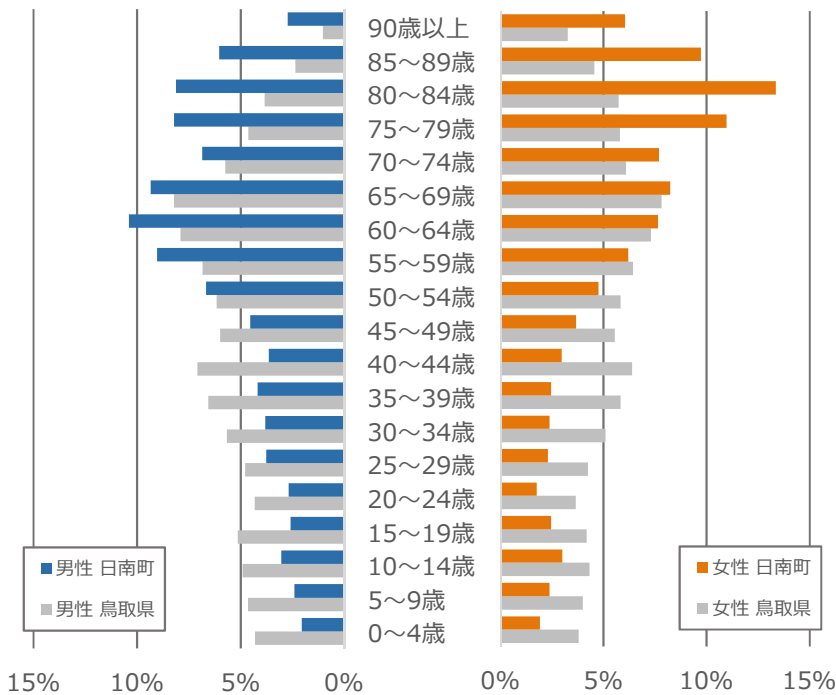
Ⅶ 各市町村の状況 - 日南町

1. 概要

人口総数	高齢化率	国保被保険者数	国保加入率	国保被保険者の平均年齢
4,765人	49.2%	1,044人	21.9%	60.4歳

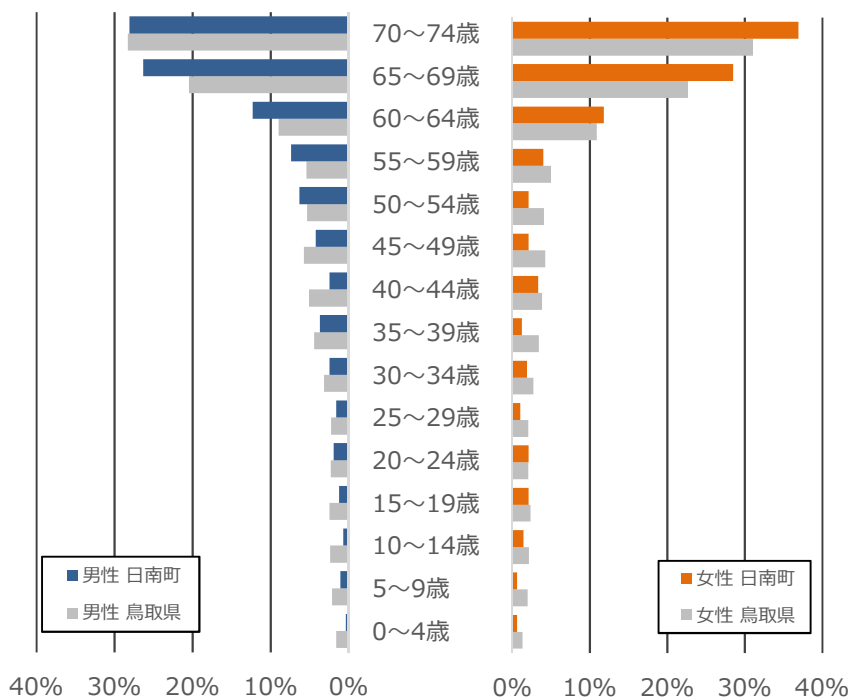
出典:KDB帳票No.3 健診・医療・介護データからみる地域の健康課題(令和2年度)

■ 人口ピラミッド (平成27年度)



年齢階層	人口	
	男性	女性
0～4歳	45人	49人
5～9歳	53人	61人
10～14歳	67人	77人
15～19歳	57人	63人
20～24歳	59人	45人
25～29歳	83人	59人
30～34歳	84人	61人
35～39歳	92人	63人
40～44歳	80人	76人
45～49歳	100人	94人
50～54歳	147人	122人
55～59歳	199人	159人
60～64歳	229人	196人
65～69歳	206人	211人
70～74歳	151人	197人
75～79歳	181人	281人
80～84歳	179人	342人
85～89歳	133人	249人
90歳以上	60人	155人
合計	2,205人	2,560人

■ 国保被保険者数ピラミッド (令和2年度)

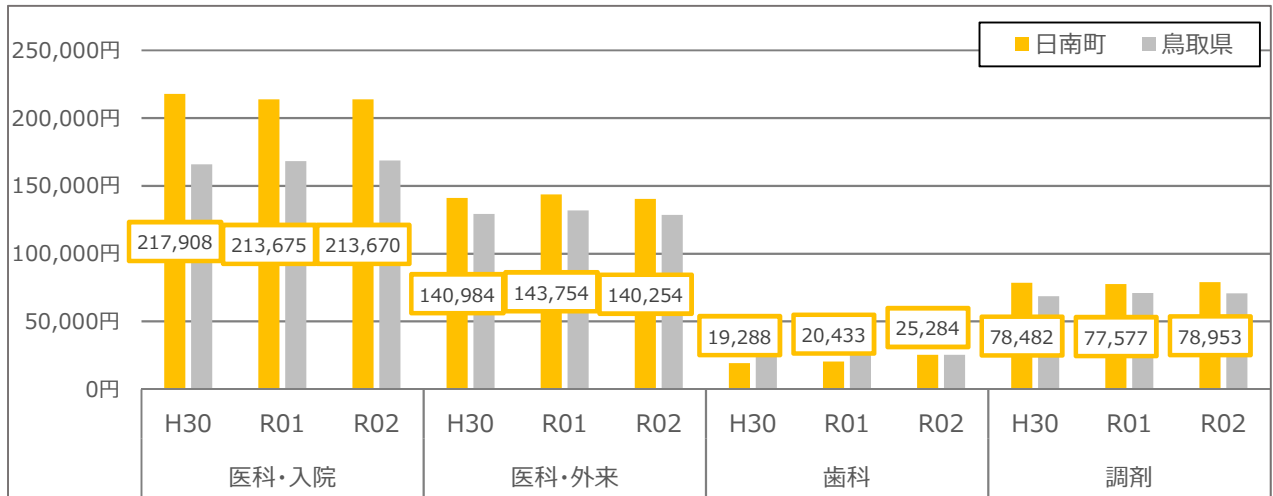


年齢階層	国保被保険者数	
	男性	女性
0～4歳	2人	3人
5～9歳	6人	3人
10～14歳	4人	7人
15～19歳	7人	10人
20～24歳	11人	10人
25～29歳	9人	5人
30～34歳	14人	9人
35～39歳	21人	6人
40～44歳	14人	16人
45～49歳	24人	10人
50～54歳	36人	10人
55～59歳	42人	19人
60～64歳	70人	56人
65～69歳	150人	135人
70～74歳	160人	175人
合計	570人	474人

出典:KDB帳票No.5 人口及び被保険者の状況(令和2年度)

2. 医療費の状況

■ 1人当たり医療費（年次推移）



■ 疾病大分類別1人当たり年間医療費（3年平均）

（単位:円）

番号	疾病大分類	医科・入院				医科・外来+調剤			
		男性		女性		男性		女性	
		医療費	順位	医療費	順位	医療費	順位	医療費	順位
1	感染症及び寄生虫症	924	14	643	14	3,533	12	3,332	12
2	新生物<腫瘍>	52,414	1	18,430	4	51,488	1	17,968	4
3	血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	5,613	11	425	15	91	16	545	17
4	内分泌、栄養及び代謝疾患	2,292	13	4,878	10	29,878	3	34,323	1
5	精神及び行動の障害	25,888	4	20,744	2	5,159	10	15,284	6
6	神経系の疾患	38,251	3	8,655	8	15,857	5	11,138	7
7	眼及び付属器の疾患	5,372	12	5,310	9	7,074	9	9,534	9
8	耳及び乳様突起の疾患	521	15	862	13	501	15	723	16
9	循環器系の疾患	39,227	2	17,932	5	27,899	4	21,671	2
10	呼吸器系の疾患	15,454	7	4,650	11	9,895	8	9,581	8
11	消化器系の疾患	9,187	8	10,199	6	14,026	6	15,838	5
12	皮膚及び皮下組織の疾患	264	16	23	18	4,176	11	2,349	13
13	筋骨格系及び結合組織の疾患	17,927	6	19,013	3	13,909	7	19,994	3
14	尿路器系の疾患	18,317	5	3,857	12	45,802	2	6,963	10
15	妊娠、分娩及び産じょく	0	17	81	16	0	18	46	18
16	周産期に発生した病態	0	17	0	19	0	18	0	19
17	先天奇形、変形及び染色体異常	0	17	59	17	33	17	5,849	11
18	症状、徴候及び異常臨床検査所見で他に分類されないもの	6,457	10	31,419	1	1,607	14	1,408	15
19	損傷、中毒及びその他の外因の影響	8,764	9	9,490	7	2,452	13	1,853	14
合計		246,869	-	156,670	-	233,382	-	178,399	-

※傷病名不詳等の疾病分類できないレプトは集計対象外としている。

出典:KDB帳票No.42 疾病別医療費分析(大分類)(平成30年度~令和2年度)

■【男性】疾病中分類別1人当たり年間医療費
(3年平均) (医科・入院) (単位:円)

順位	疾病中分類	医療費
1	その他の悪性新生物<腫瘍>	26,705
2	その他の神経系の疾患	19,045
3	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	17,798
4	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	16,738
5	腎不全	14,040
6	虚血性心疾患	10,984
7	その他の心疾患	9,500
8	その他の呼吸器系の疾患	8,504
9	気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	7,614
10	胃の悪性新生物<腫瘍>	7,298

■【男性】疾病中分類別1人当たり年間医療費
(3年平均) (医科・外来+調剤) (単位:円)

順位	疾病中分類	医療費
1	腎不全	41,796
2	その他の悪性新生物<腫瘍>	25,786
3	糖尿病	23,263
4	胃の悪性新生物<腫瘍>	14,844
5	高血圧性疾患	13,807
6	その他の心疾患	10,645
7	その他の神経系の疾患	9,544
8	その他の消化器系の疾患	8,256
9	その他の眼及び付属器の疾患	5,756
10	脂質異常症	5,228

■【女性】疾病中分類別1人当たり年間医療費
(3年平均) (医科・入院) (単位:円)

順位	疾病中分類	医療費
1	症状、徴候及び異常臨床所見・異常、検査所見で他に分類されないもの	31,419
2	その他の心疾患	12,431
3	関節症	12,019
4	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	11,576
5	気分(感情)障害(躁うつ病を含む)	7,497
6	気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	6,876
7	骨折	6,834
8	その他の神経系の疾患	6,411
9	その他の消化器系の疾患	6,361
10	白内障	4,733

■【女性】疾病中分類別1人当たり年間医療費
(3年平均) (医科・外来+調剤) (単位:円)

順位	疾病中分類	医療費
1	糖尿病	21,066
2	高血圧性疾患	12,485
3	脂質異常症	10,550
4	その他の消化器系の疾患	10,044
5	その他の心疾患	7,314
6	その他の眼及び付属器の疾患	6,756
7	気分(感情)障害(躁うつ病を含む)	6,595
8	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	6,370
9	その他の神経系の疾患	6,272
10	気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	6,065

出典:KDB帳票No.43 疾病別医療費分析(中分類)(平成30年度~令和2年度)

■【男性】高額レセプト疾病中分類別1人当たり年間医療費（3年平均）（医科・入院）（単位:円）

順位	疾病中分類	医療費
1	その他の悪性新生物<腫瘍>	25,697
2	その他の神経系の疾患	18,489
3	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	17,798
4	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	15,565
5	腎不全	13,224
6	虚血性心疾患	10,347
7	その他の心疾患	8,579
8	その他の呼吸器系の疾患	8,017
9	気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	7,502
10	関節症	7,282

■【男性】高額レセプト疾病中分類別1人当たり年間医療費（3年平均）（医科・外来+調剤）（単位:円）

順位	疾病中分類	医療費
1	腎不全	38,054
2	その他の悪性新生物<腫瘍>	20,427
3	胃の悪性新生物<腫瘍>	13,105
4	気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	2,782
5	その他の皮膚及び皮下組織の疾患	1,390
6	糖尿病	1,154
7	結腸の悪性新生物<腫瘍>	912
8	症状、徴候及び異常臨床所見・異常、検査所見で他に分類されないもの	728
9	肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>	664
10	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	306

■【女性】高額レセプト疾病中分類別1人当たり年間医療費（3年平均）（医科・入院）（単位:円）

順位	疾病中分類	医療費
1	症状、徴候及び異常臨床所見・異常、検査所見で他に分類されないもの	30,753
2	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	11,371
3	関節症	11,343
4	その他の心疾患	10,093
5	気分（感情）障害（躁うつ病を含む）	7,101
6	気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	6,751
7	骨折	6,246
8	その他の神経系の疾患	5,808
9	その他の消化器系の疾患	5,322
10	白内障	3,542

■【女性】高額レセプト疾病中分類別1人当たり年間医療費（3年平均）（医科・外来+調剤）（単位:円）

順位	疾病中分類	医療費
1	その他の先天奇形、変形及び染色体異常	4,292
2	悪性リンパ腫	1,258
3	その他の悪性新生物<腫瘍>	1,113
4	気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	985
5	白内障	485
6	その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	464
7	乳房の悪性新生物<腫瘍>	206
8	その他の眼及び付属器の疾患	204
9	—	—
10	—	—

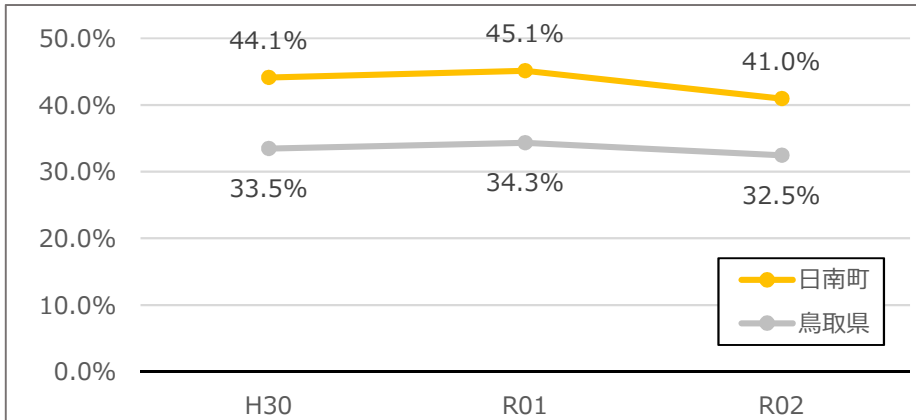
※1件あたり300,000円以上のレセプトを対象としている。

出典:KDB帳票No.10 基準額以上となったレセプト一覧（平成30年度～令和2年度）

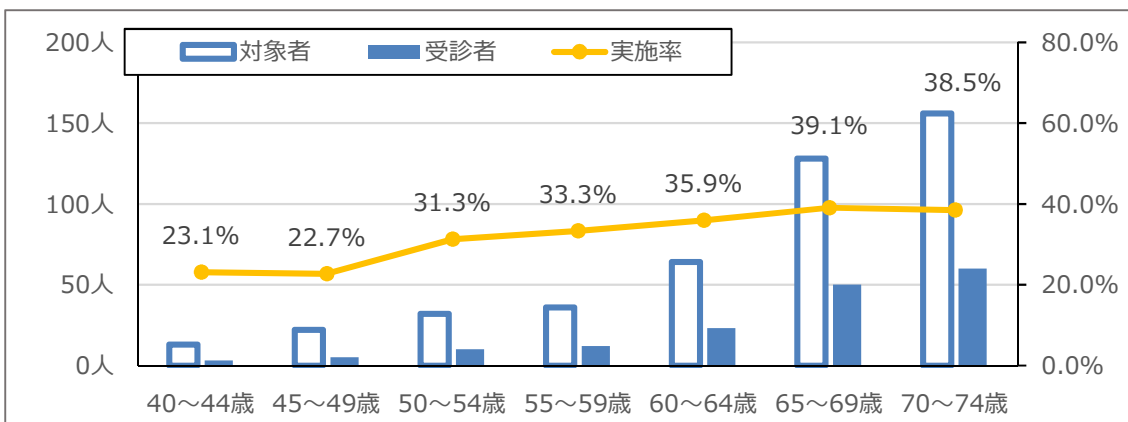
3. 特定健康診査・特定保健指導の状況

■ 特定健康診査実施率（年次推移）

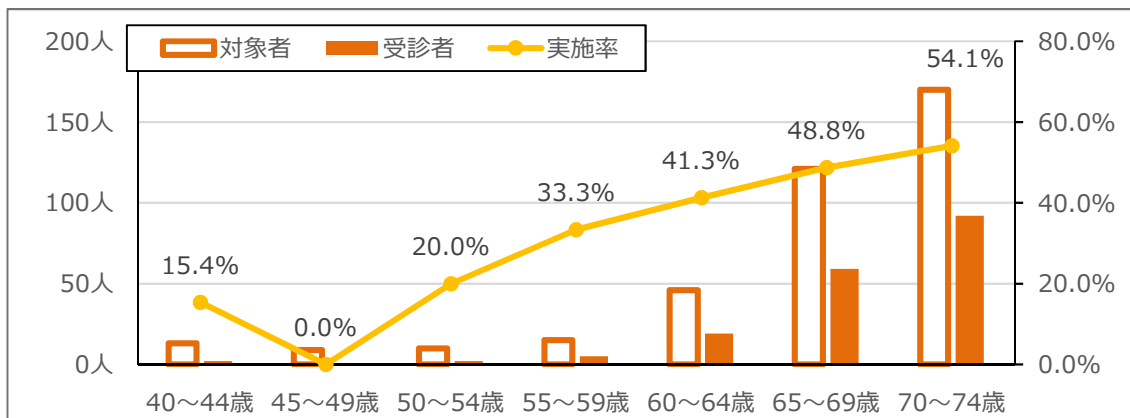
年度	対象者数	受診者数		実施率	(参考) 県実施率	(参考) 国実施率
		受診者数	実施率			
H30	868人	383人	44.1%	33.5%	37.9%	
R01	853人	385人	45.1%	34.3%	38.0%	
R02	835人	342人	41.0%	32.5%	-	



【男性】年齢階層別特定健康診査実施率の状況（令和2年度）



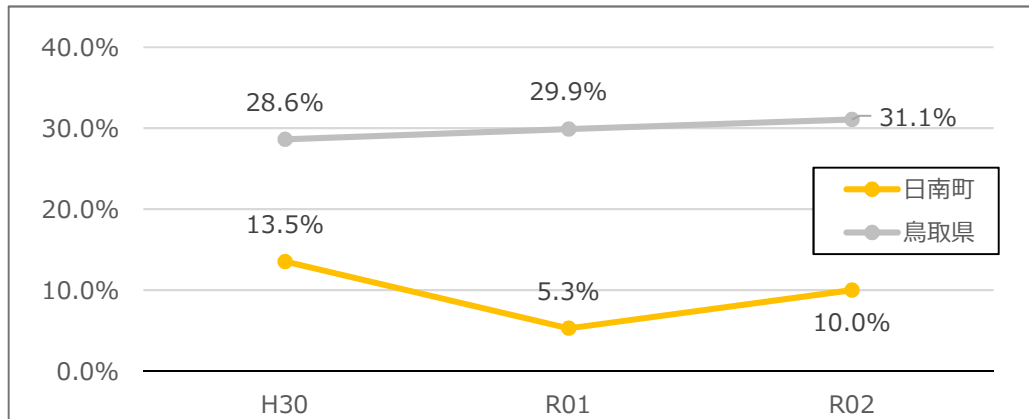
【女性】年齢階層別特定健康診査実施率の状況（令和2年度）



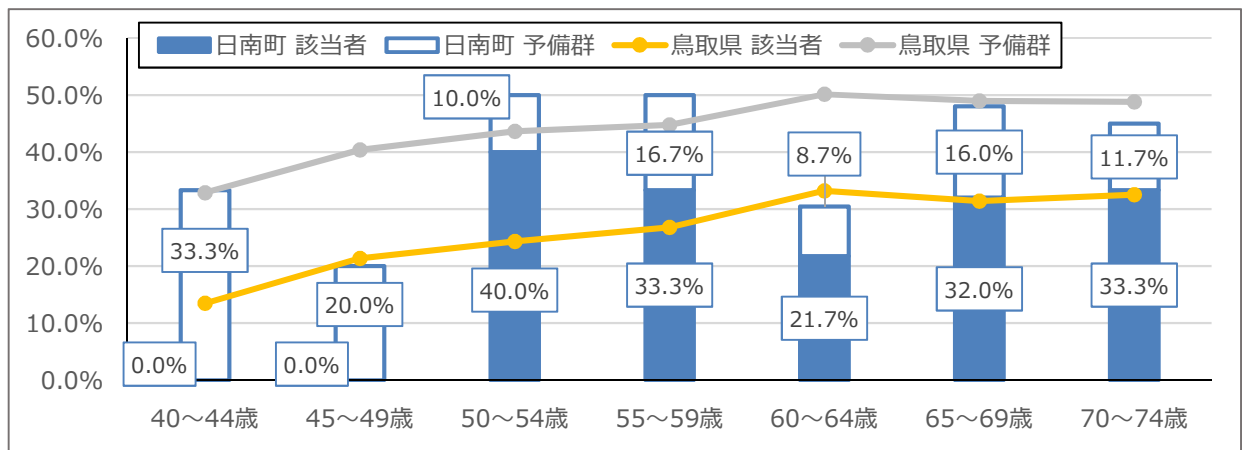
出典:特定健診データ管理システム法定報告資料（各年度）
 国実施率は、厚生労働省の「特定健康診査・特定保健指導の実施状況」を参照

■ 特定保健指導実施率（年次推移）

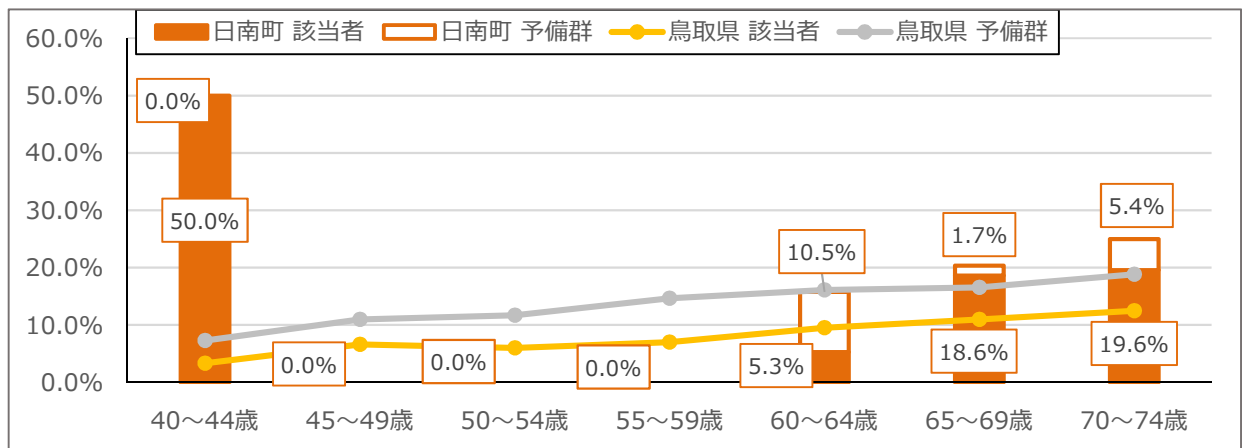
年度	対象者数	受診者数		(参考) 県実施率	(参考) 国実施率
		受診者数	実施率		
H30	37人	5人	13.5%	28.6%	28.8%
R01	38人	2人	5.3%	29.9%	29.3%
R02	40人	4人	10.0%	31.1%	-



■ 【男性】年齢階級別メタボリックシンドローム該当者・予備群の割合（令和2年度）

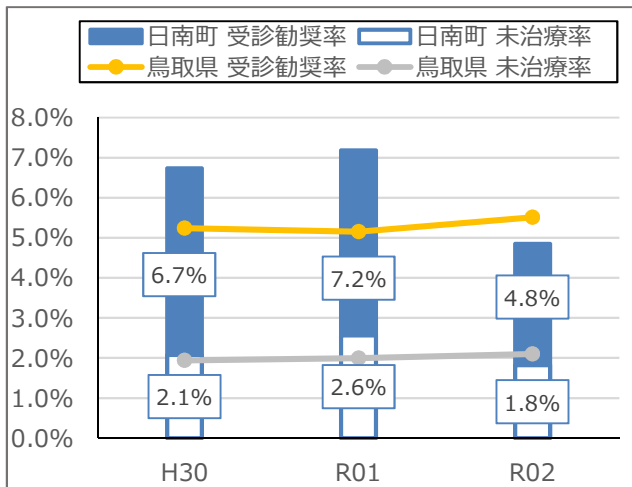


■ 【女性】年齢階級別メタボリックシンドローム該当者・予備群の割合（令和2年度）

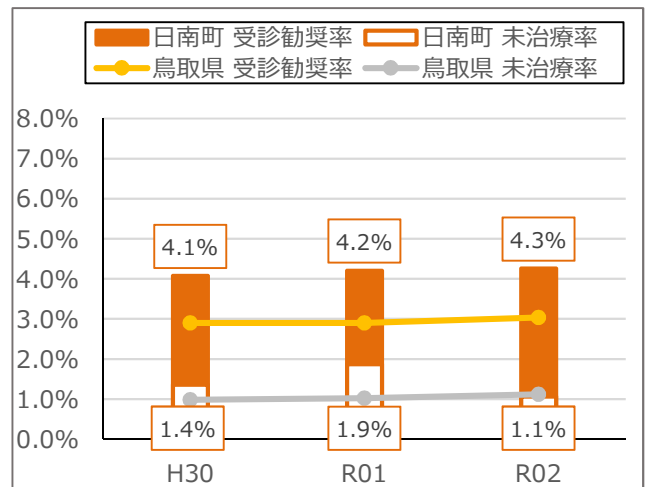


出典：特定健診データ管理システム法定報告資料（各年度）
 国実施率は、厚生労働省の「特定健康診査・特定保健指導の実施状況」を参照

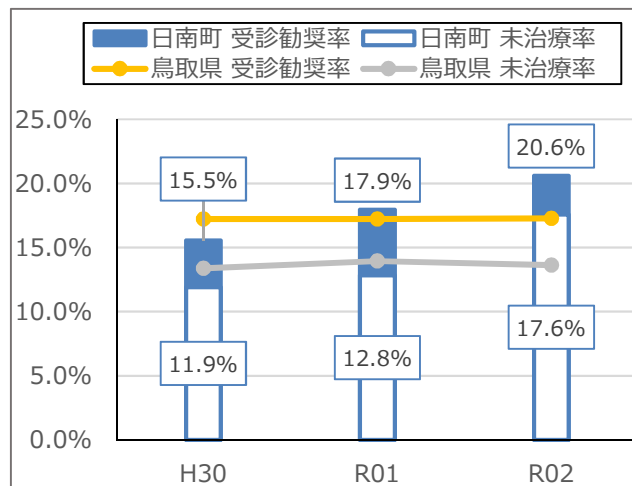
■【男性】（血糖）特定健診異常値未治療者の割合（年次推移）



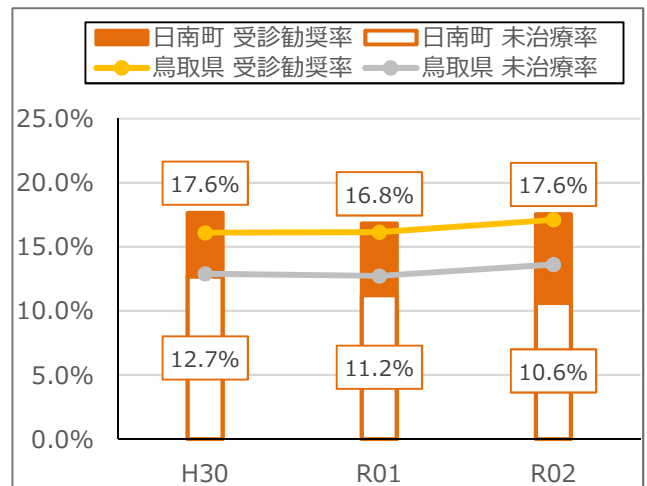
■【女性】（血糖）特定健診異常値未治療者の割合（年次推移）



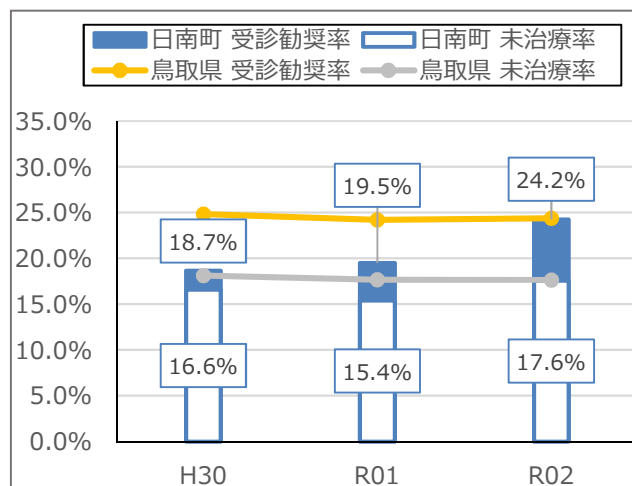
■【男性】（血圧）特定健診異常値未治療者の割合（年次推移）



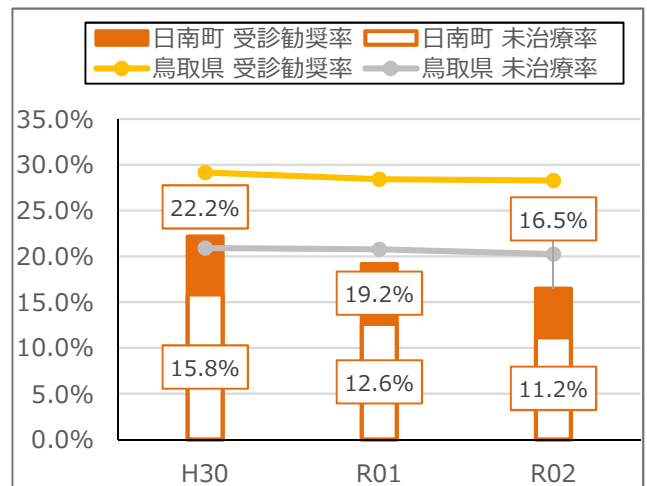
■【女性】（血圧）特定健診異常値未治療者の割合（年次推移）



■【男性】（脂質）特定健診異常値未治療者の割合（年次推移）



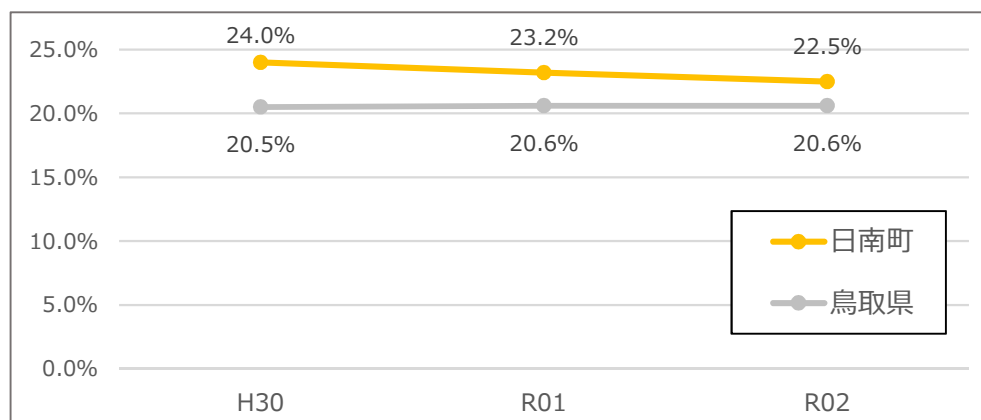
■【女性】（脂質）特定健診異常値未治療者の割合（年次推移）



※受診勧奨率：特定健診の結果、医療受診が必要となった者の割合
出典：KDB帳票No.76 介入支援対象者一覧表（栄養・重症化予防等）（平成30年度～令和2年度）

4. 介護の状況

■ 要介護認定率（年次推移）



■ 要介護度別1件当たりの介護給付費（令和2年度）

（単位:円）

要介護度別	日南町	鳥取県
要支援1	6,721	10,178
要支援2	10,590	14,136
要介護1	43,609	48,280
要介護2	54,422	57,060
要介護3	125,502	91,754
要介護4	170,940	129,106
要介護5	231,349	147,766

■ 要介護・要支援認定者の疾病別有病状況（令和2年度）

疾病名	日南町		鳥取県有病率
	有病率	順位	
糖尿病	19.6%	7	23.7%
高血圧	54.0%	3	52.3%
脂質異常症	32.4%	5	31.6%
心臓病	63.6%	1	62.1%
脳疾患	24.7%	6	27.4%
がん	14.1%	8	10.9%
筋・骨格	63.2%	2	53.6%
精神	41.8%	4	41.0%

出典:KDB帳票No.1 地域の全体像の把握 各年度(累計)

5. まとめ

医療費の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・入院医療費、外来医療費、高額レセプト受診率、高額レセプト年間医療費が県内上位5位に入る。 ・男性の新生物が入院医療費、外来医療費ともに県平均より高い。 ・男性の腎不全の外来医療費が県平均より高い。
特定健康診査・特定保健指導の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・特定健診受診率は県平均よりも高いが、保健指導率は県平均よりも低い。 ・50歳代男性のメタボ該当者、予備群が県平均よりも高い。 ・男女ともに血糖の有所見者割合が県平均よりも高い。(P.37-38) ・女性の血圧、脂質の未治療率は県平均よりも低く、減少傾向である。
介護の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・要介護3以上において、1件当たりの介護給付費が県平均よりも高い。 ・要支援・要介護認定者の有病率は、筋骨格が県内で最も高い。(P.48) ・要介護認定時のロコモティブシンドローム要因疾患の有病率は、変形性関節症が県内で最も高い。(P.51)
健康スコアリングから見える課題、助言等	<ul style="list-style-type: none"> ・肥満、血糖、脂質リスクが高く、各生活習慣のスコアが低い傾向にあるため、基本的な生活習慣の改善を図る事業の検討が必要であるとする。(P.54-56) ・要介護認定なしの入院、外来医療費がともに高いが、要介護認定ありの入院、外来医療費は県内で最も低い。(P.59-60)

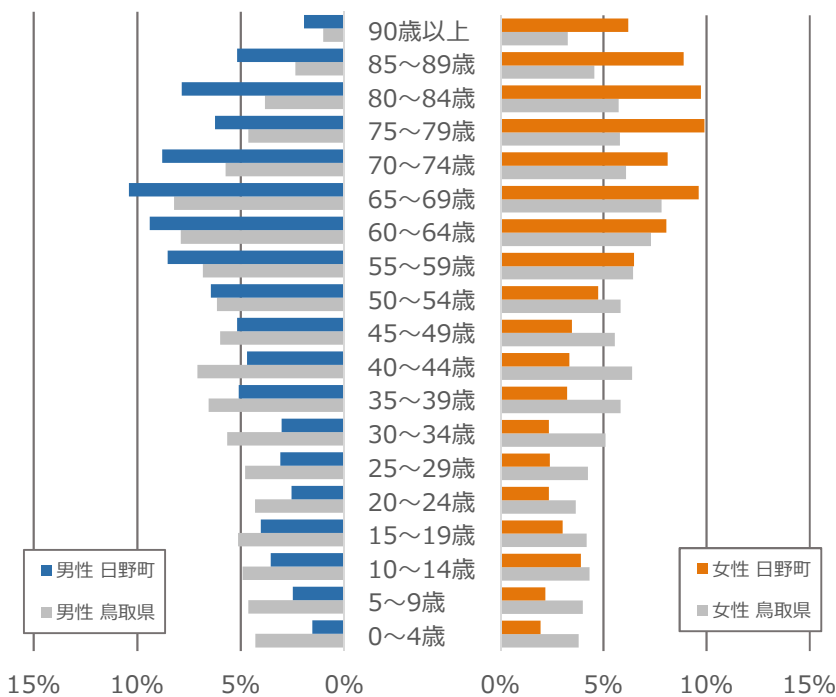
Ⅶ 各市町村の状況 - 日野町

1. 概要

人口総数	高齢化率	国保被保険者数	国保加入率	国保被保険者の平均年齢
3,278人	47.0%	696人	21.2%	59.9歳

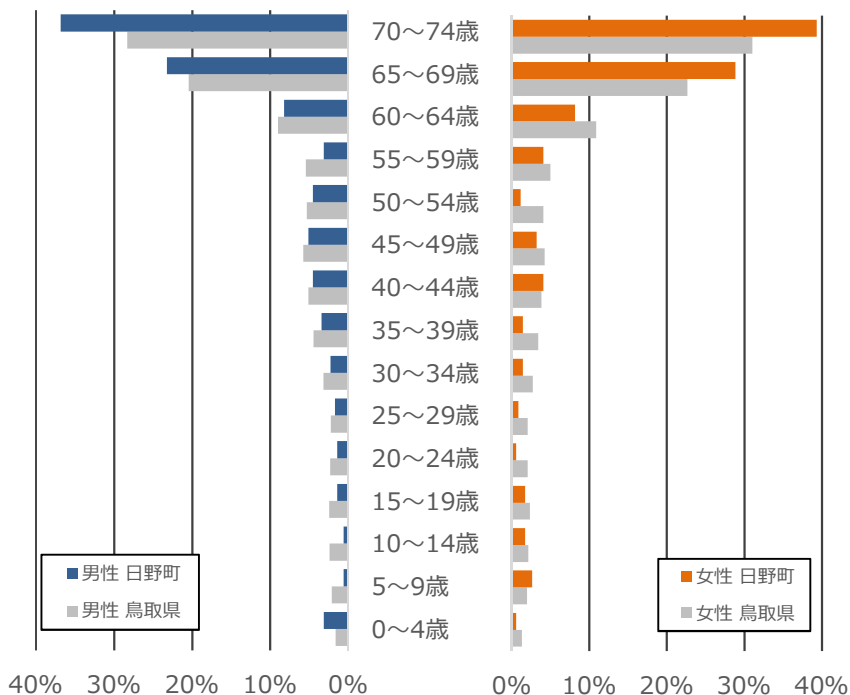
出典:KDB帳票No.3 健診・医療・介護データからみる地域の健康課題(令和2年度)

■ 人口ピラミッド (平成27年度)



年齢階層	人口	
	男性	女性
0~4歳	23人	35人
5~9歳	37人	39人
10~14歳	53人	70人
15~19歳	60人	54人
20~24歳	38人	42人
25~29歳	46人	43人
30~34歳	45人	42人
35~39歳	76人	58人
40~44歳	70人	60人
45~49歳	77人	62人
50~54歳	96人	85人
55~59歳	127人	116人
60~64歳	140人	144人
65~69歳	155人	172人
70~74歳	131人	145人
75~79歳	93人	177人
80~84歳	117人	174人
85~89歳	77人	159人
90歳以上	29人	111人
合計	1,490人	1,788人

■ 国保被保険者数ピラミッド (令和2年度)

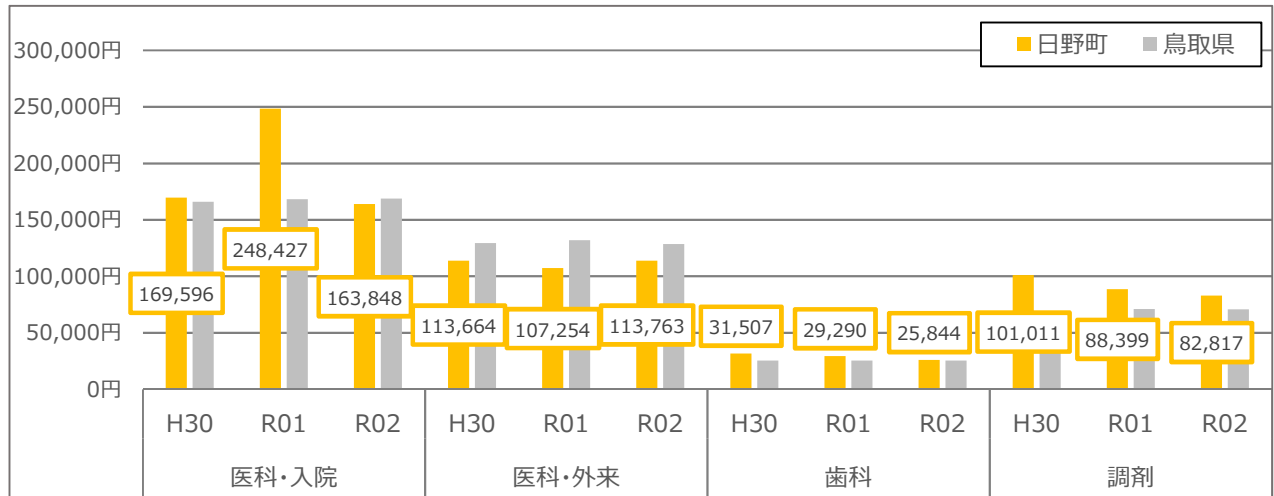


年齢階層	国保被保険者数	
	男性	女性
0~4歳	11人	2人
5~9歳	2人	9人
10~14歳	2人	6人
15~19歳	5人	6人
20~24歳	5人	2人
25~29歳	6人	3人
30~34歳	8人	5人
35~39歳	12人	5人
40~44歳	16人	14人
45~49歳	18人	11人
50~54歳	16人	4人
55~59歳	11人	14人
60~64歳	29人	28人
65~69歳	82人	99人
70~74歳	130人	135人
合計	353人	343人

出典:KDB帳票No.5 人口及び被保険者の状況(令和2年度)

2. 医療費の状況

■ 1人当たり医療費（年次推移）



出典:国保総合システム(平成30年度～令和2年度)

■ 疾病大分類別1人当たり年間医療費（3年平均）

(単位:円)

番号	疾病大分類	医科・入院				医科・外来+調剤			
		男性		女性		男性		女性	
		医療費	順位	医療費	順位	医療費	順位	医療費	順位
1	感染症及び寄生虫症	3,810	9	342	14	9,691	9	7,288	11
2	新生物<腫瘍>	59,765	1	17,950	2	40,540	2	12,978	5
3	血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	2,348	13	0	18	151	16	126	18
4	内分泌、栄養及び代謝疾患	2,993	11	2,556	13	38,384	3	31,887	1
5	精神及び行動の障害	15,831	6	5,680	10	8,165	11	7,954	9
6	神経系の疾患	14,615	8	19,043	1	17,116	4	11,447	6
7	眼及び付属器の疾患	2,843	12	10,007	7	9,890	8	10,000	7
8	耳及び乳様突起の疾患	245	16	78	16	736	15	825	15
9	循環器系の疾患	42,533	2	9,979	8	46,083	1	18,559	3
10	呼吸器系の疾患	25,523	3	11,967	5	13,729	6	8,968	8
11	消化器系の疾患	21,009	4	2,850	11	15,112	5	15,280	4
12	皮膚及び皮下組織の疾患	1,581	15	12,930	4	3,828	12	2,114	12
13	筋骨格系及び結合組織の疾患	14,935	7	11,277	6	10,644	7	30,608	2
14	尿路器系の疾患	3,391	10	5,874	9	9,065	10	7,643	10
15	妊娠、分娩及び産じょく	0	17	289	15	0	18	148	17
16	周産期に発生した病態	0	17	25	17	0	18	5	19
17	先天奇形、変形及び染色体異常	0	17	0	18	33	17	252	16
18	症状、徴候及び異常臨床検査所見で他に分類されないもの	2,346	14	2,617	12	1,504	14	1,800	14
19	損傷、中毒及びその他の外因の影響	15,857	5	17,193	3	1,866	13	1,815	13
合計		229,623	-	130,658	-	226,536	-	169,695	-

※傷病名不詳等の疾病分類できないレセプトは集計対象外としている。

出典:KDB帳票No.42 疾病別医療費分析(大分類)(平成30年度～令和2年度)

■【男性】疾病中分類別1人当たり年間医療費
(3年平均) (医科・入院) (単位:円)

順位	疾病中分類	医療費
1	脳梗塞	19,280
2	その他の消化器系の疾患	16,273
3	その他の呼吸器系の疾患	13,951
4	その他の悪性新生物<腫瘍>	12,735
5	気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	12,361
6	その他の心疾患	12,240
7	その他	11,207
8	胃の悪性新生物<腫瘍>	10,441
9	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	10,282
10	結腸の悪性新生物<腫瘍>	10,277

■【女性】疾病中分類別1人当たり年間医療費
(3年平均) (医科・入院) (単位:円)

順位	疾病中分類	医療費
1	その他の皮膚及び皮下組織の疾患	12,510
2	その他の神経系の疾患	12,251
3	骨折	11,859
4	その他の呼吸器系の疾患	7,238
5	白内障	6,688
6	パーキンソン病	5,229
7	関節症	5,188
8	胃の悪性新生物<腫瘍>	5,115
9	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	4,732
10	その他損傷及びその他外因の影響	4,585

■【男性】疾病中分類別1人当たり年間医療費
(3年平均) (医科・外来+調剤) (単位:円)

順位	疾病中分類	医療費
1	その他の心疾患	30,597
2	糖尿病	26,395
3	その他の悪性新生物<腫瘍>	19,804
4	高血圧性疾患	11,354
5	その他の眼及び付属器の疾患	8,048
6	ウイルス性肝炎	7,997
7	その他の神経系の疾患	7,563
8	その他の消化器系の疾患	7,419
9	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	6,560
10	脂質異常症	6,319

■【女性】疾病中分類別1人当たり年間医療費
(3年平均) (医科・外来+調剤) (単位:円)

順位	疾病中分類	医療費
1	糖尿病	22,423
2	高血圧性疾患	11,462
3	骨の密度及び構造の障害	9,440
4	その他の消化器系の疾患	8,900
5	脂質異常症	8,351
6	その他の眼及び付属器の疾患	7,873
7	炎症性多発性関節障害	6,559
8	その他の神経系の疾患	6,258
9	関節症	5,933
10	腎不全	5,245

出典:KDB帳票No.43 疾病別医療費分析(中分類)(平成30年度~令和2年度)

■【男性】高額レセプト疾病中分類別1人当たり年間医療費（3年平均）（医科・入院）（単位:円）

順位	疾病中分類	医療費
1	脳梗塞	18,162
2	その他の呼吸器系の疾患	13,603
3	気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	12,079
4	その他の消化器系の疾患	12,053
5	その他の悪性新生物<腫瘍>	11,353
6	その他の心疾患	11,207
7	その他	10,711
8	胃の悪性新生物<腫瘍>	10,441
9	結腸の悪性新生物<腫瘍>	10,006
10	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	9,328

■【男性】高額レセプト疾病中分類別1人当たり年間医療費（3年平均）（医科・外来+調剤）（単位:円）

順位	疾病中分類	医療費
1	その他の心疾患	20,320
2	その他の悪性新生物<腫瘍>	12,757
3	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	5,204
4	肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>	5,000
5	ウイルス性肝炎	4,959
6	気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	2,668
7	その他の眼及び付属器の疾患	985
8	屈折及び調節の障害	573
9	白内障	336
10	喘息	282

■【女性】高額レセプト疾病中分類別1人当たり年間医療費（3年平均）（医科・入院）（単位:円）

順位	疾病中分類	医療費
1	その他の皮膚及び皮下組織の疾患	12,510
2	その他の神経系の疾患	11,582
3	骨折	11,452
4	その他の呼吸器系の疾患	6,814
5	白内障	5,904
6	関節症	5,030
7	胃の悪性新生物<腫瘍>	4,940
8	その他損傷及びその他外因の影響	4,253
9	腎不全	4,064
10	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	3,920

■【女性】高額レセプト疾病中分類別1人当たり年間医療費（3年平均）（医科・外来+調剤）（単位:円）

順位	疾病中分類	医療費
1	胃の悪性新生物<腫瘍>	2,004
2	腎不全	1,748
3	その他の悪性新生物<腫瘍>	414
4	良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	341
5	白内障	334
6	動脈硬化（症）	282
7	—	—
8	—	—
9	—	—
10	—	—

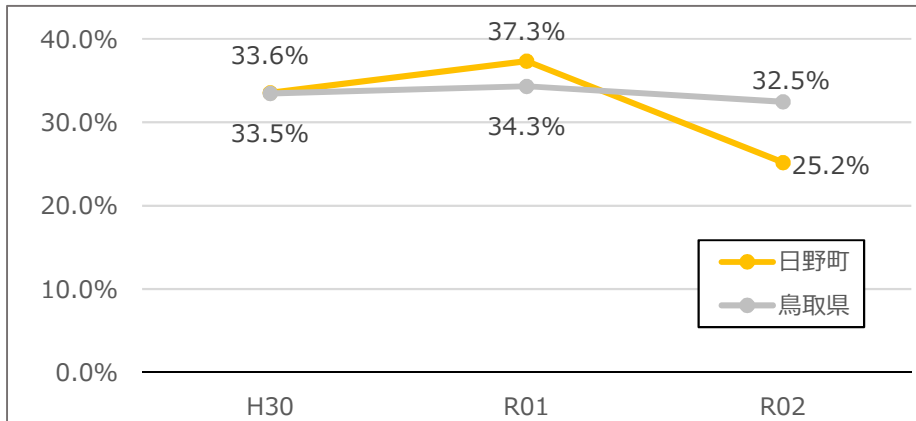
※1件あたり300,000円以上のレセプトを対象としている。

出典:KDB帳票No.10 基準額以上となったレセプト一覧（平成30年度～令和2年度）

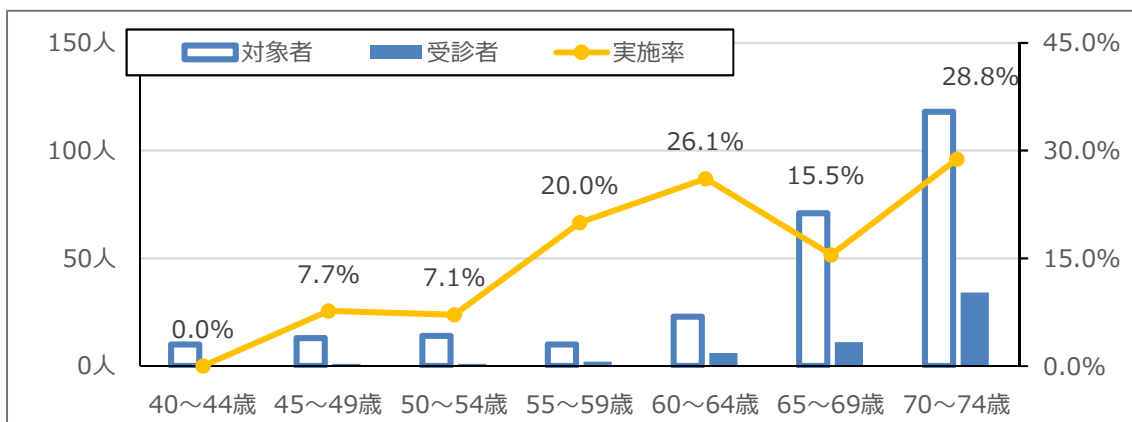
3. 特定健康診査・特定保健指導の状況

■ 特定健康診査実施率（年次推移）

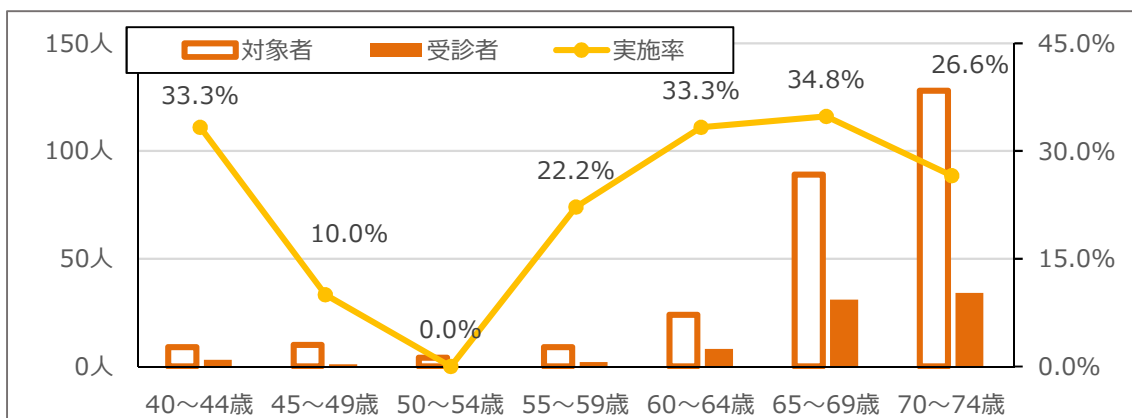
年度	対象者数	受診者数		(参考) 県実施率	(参考) 国実施率
		受診者数	実施率		
H30	584人	196人	33.6%	33.5%	37.9%
R01	565人	211人	37.3%	34.3%	38.0%
R02	532人	134人	25.2%	32.5%	-



【男性】年齢階層別特定健康診査実施率の状況（令和2年度）



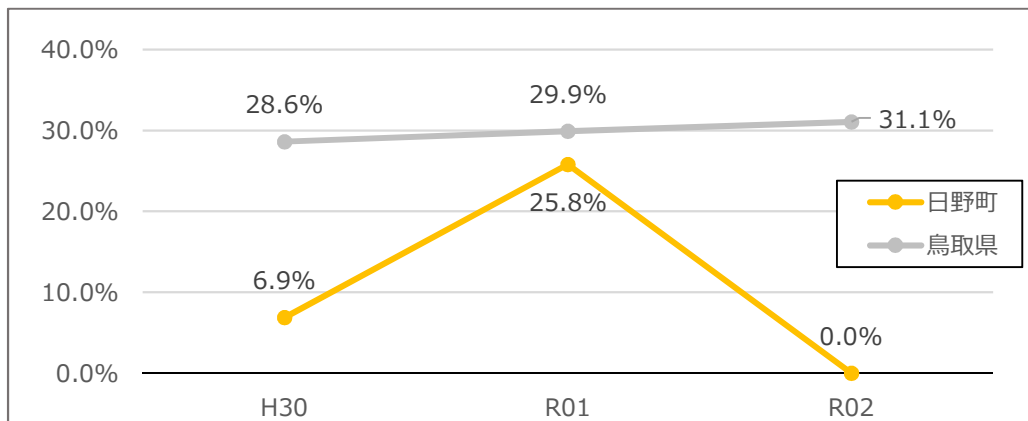
【女性】年齢階層別特定健康診査実施率の状況（令和2年度）



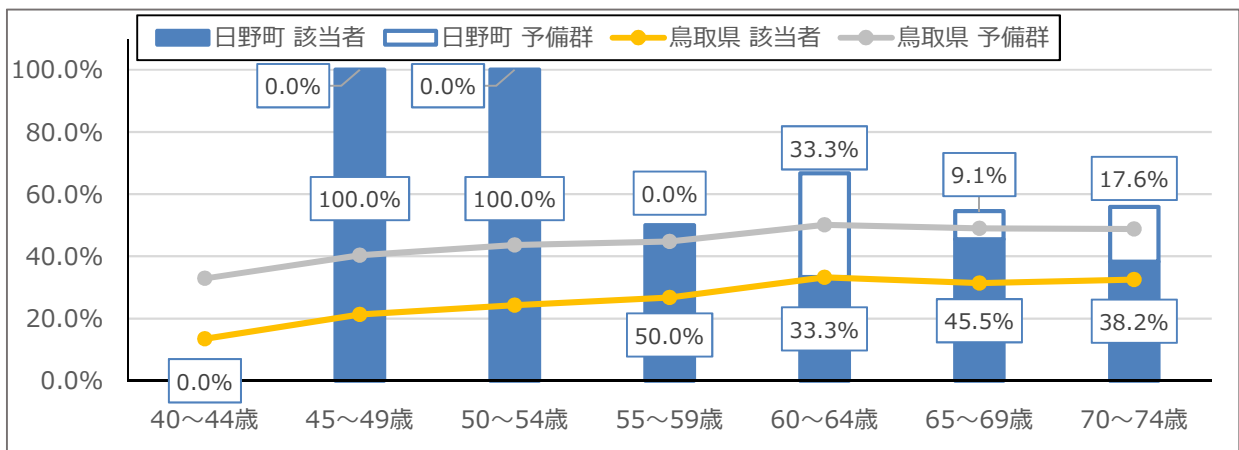
出典: 特定健診データ管理システム法定報告資料（各年度）
 国実施率は、厚生労働省の「特定健康診査・特定保健指導の実施状況」を参照

■ 特定保健指導実施率（年次推移）

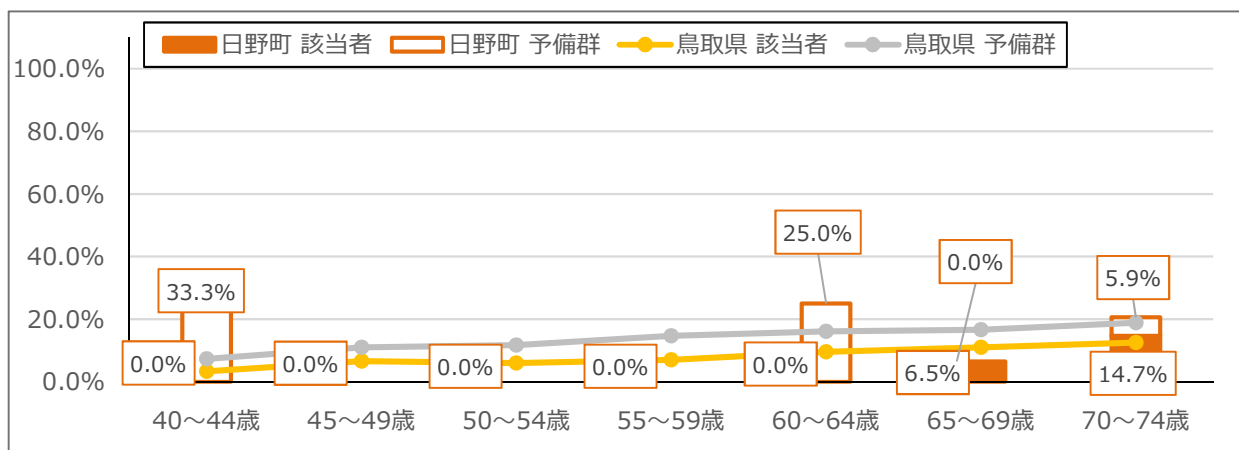
年度	対象者数	受診者数		(参考) 県実施率	(参考) 国実施率
		受診者数	実施率		
H30	29人	2人	6.9%	28.6%	28.8%
R01	31人	8人	25.8%	29.9%	29.3%
R02	19人	0人	0.0%	31.1%	-



■ 【男性】年齢階級別メタボリックシンドローム該当者・予備群の割合（令和2年度）

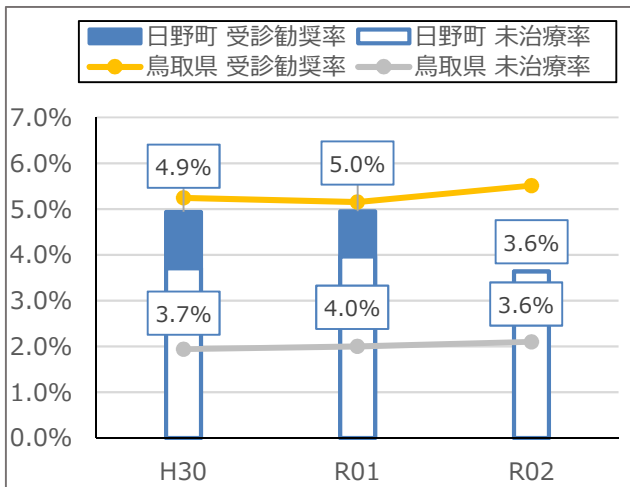


■ 【女性】年齢階級別メタボリックシンドローム該当者・予備群の割合（令和2年度）

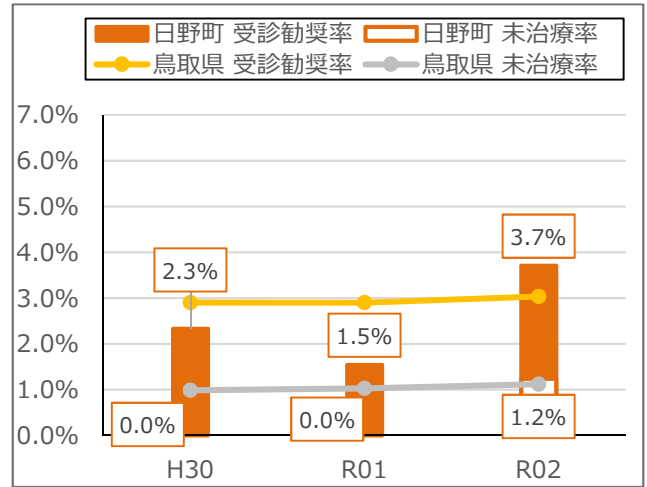


出典：特定健診データ管理システム法定報告資料（各年度）
 国実施率は、厚生労働省の「特定健康診査・特定保健指導の実施状況」を参照

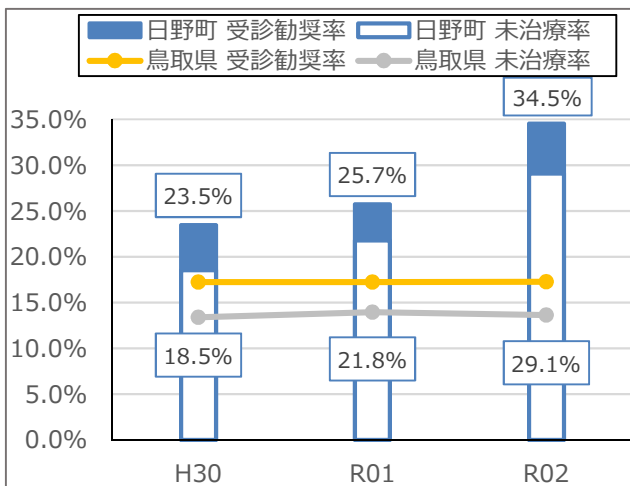
■【男性】（血糖）特定健診異常値未治療者の割合（年次推移）



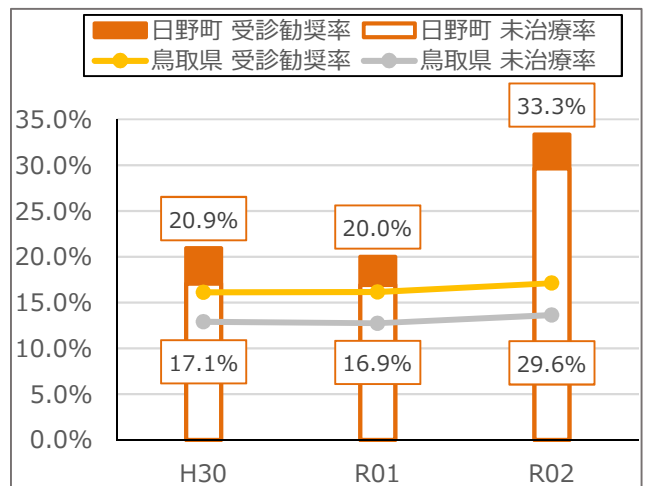
■【女性】（血糖）特定健診異常値未治療者の割合（年次推移）



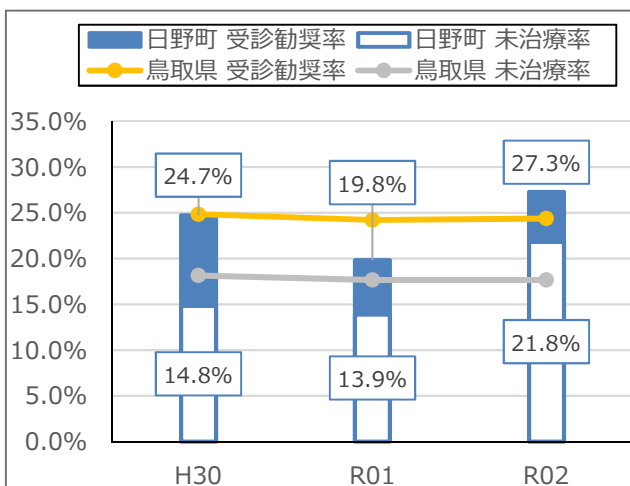
■【男性】（血圧）特定健診異常値未治療者の割合（年次推移）



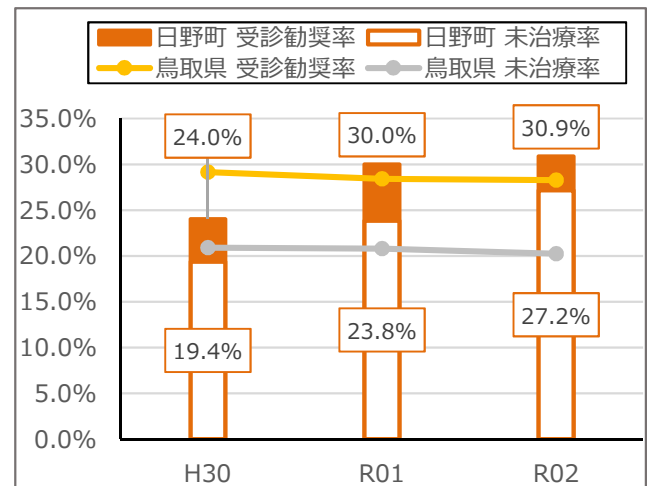
■【女性】（血圧）特定健診異常値未治療者の割合（年次推移）



■【男性】（脂質）特定健診異常値未治療者の割合（年次推移）



■【女性】（脂質）特定健診異常値未治療者の割合（年次推移）

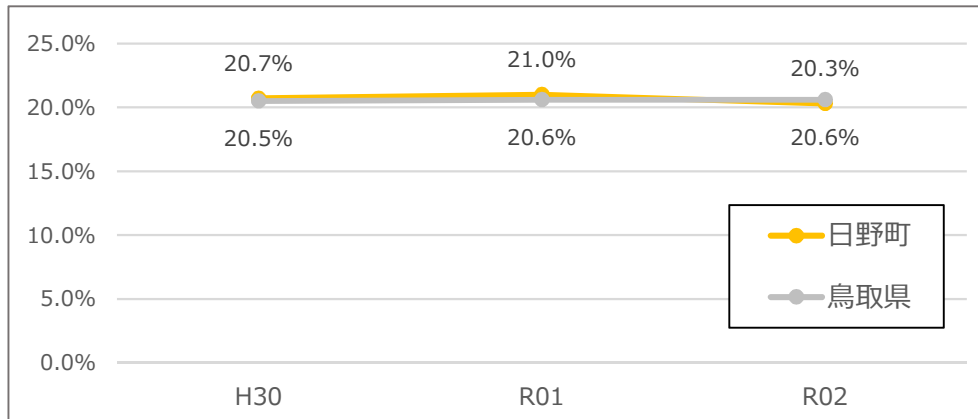


※受診勧奨率：特定健診の結果、医療受診が必要となった者の割合

出典：KDB帳票No.76 介入支援対象者一覧表（栄養・重症化予防等）（平成30年度～令和2年度）

4. 介護の状況

■ 要介護認定率（年次推移）



■ 要介護度別1件当たりの介護給付費 （令和2年度）

（単位:円）

要介護度別	日野町	鳥取県
要支援1	12,119	10,178
要支援2	16,023	14,136
要介護1	60,010	48,280
要介護2	81,894	57,060
要介護3	88,262	91,754
要介護4	135,097	129,106
要介護5	109,636	147,766

■ 要介護・要支援認定者の疾病別有病状況 （令和2年度）

疾病名	日野町		鳥取県有病率
	有病率	順位	
糖尿病	17.4%	7	23.7%
高血圧	50.8%	3	52.3%
脂質異常症	26.8%	6	31.6%
心臓病	59.5%	1	62.1%
脳疾患	38.1%	4	27.4%
がん	16.6%	8	10.9%
筋・骨格	54.4%	2	53.6%
精神	34.1%	5	41.0%

出典：KDB帳票No.1 地域の全体像の把握 各年度(累計)

5. まとめ

医療費の状況	<ul style="list-style-type: none"> 女性の内分泌、筋骨格系の外来医療費が県平均よりも高い。 男性の脳梗塞の入院医療費が県平均よりも2倍以上高い。 訪問看護療養費が年々増加しており、令和2年度は県内で最も高い。(P.19)
特定健康診査・ 特定保健指導の状況	<ul style="list-style-type: none"> 特定健診実施率は令和元年度まで増加傾向だが、令和2年度は大きく減少し、保健指導実施率は県平均よりも低い。(P.29) 男女とも血圧の受診勧奨率、未治療率が県平均よりも高く、令和2年度は大きく増加している。 男女ともに運動習慣のない人の割合が高い。(P.41-42)
介護の状況	<ul style="list-style-type: none"> 要支援・要介護認定者の有病率は、脳疾患が県内で最も高い。(P.47) 要介護認定時のロコモティブシンドローム要因疾患の有病率は、種々の神経変形疾患が県内で最も高い。(P.52)
健康スコアリングから 見える課題、助言等	<ul style="list-style-type: none"> 肥満、血圧、血糖、肝機能のリスクが高く、各生活習慣のスコアが低い傾向にあり、中でも運動習慣のスコアが県内で最も低いため、運動習慣の見直しに重点をおいた生活習慣全般の改善に係る対策を検討することが必要であると考え。(P.54-56)

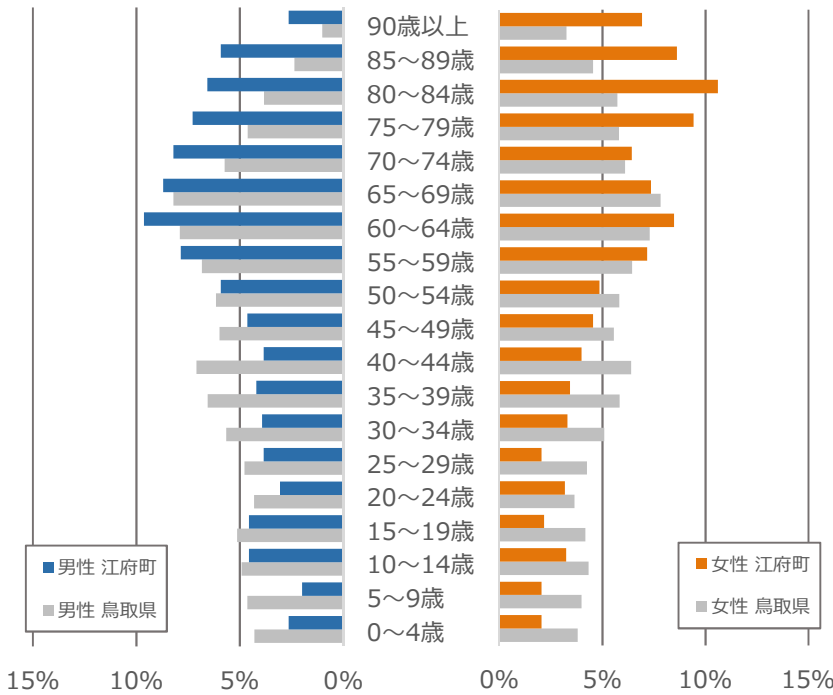
Ⅶ 各市町村の状況 – 江府町

1. 概要

人口総数	高齢化率	国保被保険者数	国保加入率	国保被保険者の平均年齢
3,004人	44.7%	536人	17.8%	61.0歳

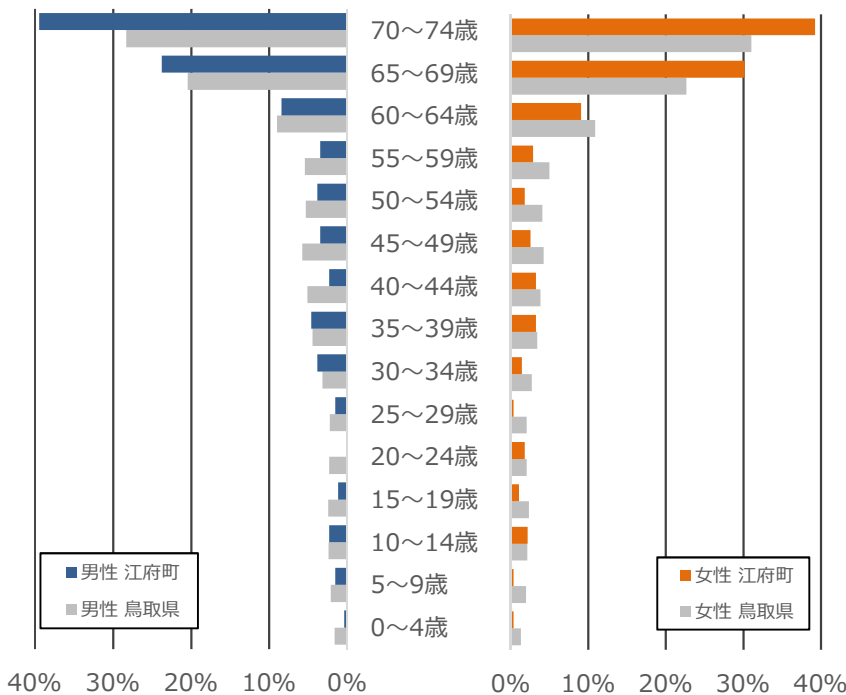
出典:KDB帳票No.3 健診・医療・介護データからみる地域の健康課題(令和2年度)

■ 人口ピラミッド (平成27年度)



年齢階層	人口	
	男性	女性
0~4歳	37人	33人
5~9歳	28人	33人
10~14歳	64人	52人
15~19歳	64人	35人
20~24歳	43人	51人
25~29歳	54人	33人
30~34歳	55人	53人
35~39歳	59人	55人
40~44歳	54人	64人
45~49歳	65人	73人
50~54歳	83人	78人
55~59歳	110人	115人
60~64歳	135人	136人
65~69歳	122人	118人
70~74歳	115人	103人
75~79歳	102人	151人
80~84歳	92人	170人
85~89歳	83人	138人
90歳以上	37人	111人
合計	1,402人	1,602人

■ 国保被保険者数ピラミッド (令和2年度)

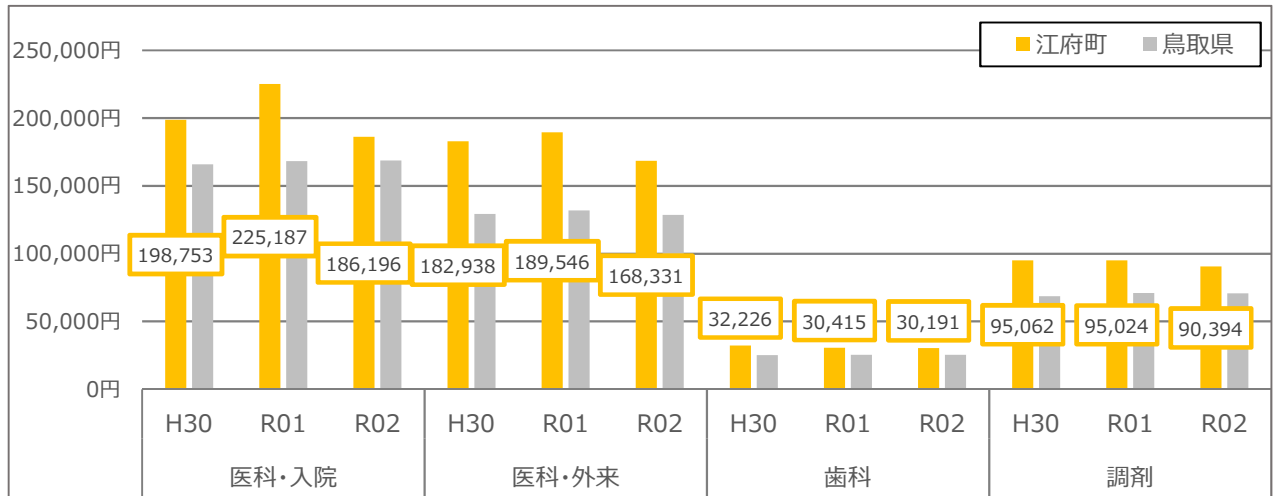


年齢階層	国保被保険者数	
	男性	女性
0~4歳	1人	1人
5~9歳	4人	1人
10~14歳	6人	6人
15~19歳	3人	3人
20~24歳	0人	5人
25~29歳	4人	1人
30~34歳	10人	4人
35~39歳	12人	9人
40~44歳	6人	9人
45~49歳	9人	7人
50~54歳	10人	5人
55~59歳	9人	8人
60~64歳	22人	25人
65~69歳	62人	83人
70~74歳	103人	108人
合計	261人	275人

出典:KDB帳票No.5 人口及び被保険者の状況(令和2年度)

2. 医療費の状況

■ 1人当たり医療費（年次推移）



出典:国保総合システム (平成30年度～令和2年度)

■ 疾病大分類別1人当たり年間医療費（3年平均）

(単位:円)

番号	疾病大分類	医科・入院				医科・外来+調剤			
		男性		女性		男性		女性	
		医療費	順位	医療費	順位	医療費	順位	医療費	順位
1	感染症及び寄生虫症	363	15	8,382	8	7,243	10	2,275	12
2	新生物<腫瘍>	36,091	3	29,981	2	39,519	2	71,812	1
3	血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	400	14	0	15	1,401	15	210	16
4	内分泌、栄養及び代謝疾患	4,791	11	702	13	34,001	4	36,949	3
5	精神及び行動の障害	2,809	13	16,111	4	5,991	11	11,164	8
6	神経系の疾患	46,068	1	937	12	19,459	5	9,943	9
7	眼及び付属器の疾患	5,162	10	3,894	11	11,293	9	16,116	6
8	耳及び乳様突起の疾患	0	16	0	15	586	16	805	15
9	循環器系の疾患	37,898	2	10,433	7	35,499	3	21,255	5
10	呼吸器系の疾患	11,177	8	38,147	1	12,182	8	8,005	10
11	消化器系の疾患	17,167	5	14,022	5	18,132	6	15,473	7
12	皮膚及び皮下組織の疾患	5,575	9	0	15	3,094	13	2,149	13
13	筋骨格系及び結合組織の疾患	18,511	4	20,216	3	15,026	7	27,587	4
14	尿路性器系の疾患	14,775	7	6,431	10	40,915	1	54,902	2
15	妊娠、分娩及び産じょく	0	16	46	14	0	18	200	17
16	周産期に発生した病態	0	16	0	15	0	18	0	19
17	先天奇形、変形及び染色体異常	0	16	0	15	185	17	16	18
18	症状、徴候及び異常臨床検査所見で他に分類されないもの	3,455	12	6,490	9	1,769	14	1,019	14
19	損傷、中毒及びその他の外因の影響	16,601	6	13,994	6	3,866	12	2,635	11
合計		220,843	-	169,788	-	250,160	-	282,515	-

※傷病名不詳等の疾病分類できないレセプトは集計対象外としている。

出典:KDB帳票No.42 疾病別医療費分析(大分類) (平成30年度～令和2年度)

■【男性】疾病中分類別1人当たり年間医療費
(3年平均) (医科・入院) (単位:円)

順位	疾病中分類	医療費
1	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	27,856
2	その他の悪性新生物<腫瘍>	22,535
3	その他の消化器系の疾患	11,897
4	その他の循環器系の疾患	11,142
5	その他の心疾患	9,808
6	腎不全	9,456
7	骨折	9,422
8	脳梗塞	8,578
9	てんかん	8,488
10	動脈硬化(症)	7,914

■【男性】疾病中分類別1人当たり年間医療費
(3年平均) (医科・外来+調剤) (単位:円)

順位	疾病中分類	医療費
1	腎不全	36,884
2	その他の悪性新生物<腫瘍>	25,779
3	糖尿病	25,244
4	高血圧性疾患	16,251
5	その他の心疾患	14,938
6	その他の神経系の疾患	12,350
7	その他の消化器系の疾患	10,587
8	その他の眼及び付属器の疾患	9,830
9	胃の悪性新生物<腫瘍>	8,423
10	脂質異常症	7,648

■【女性】疾病中分類別1人当たり年間医療費
(3年平均) (医科・入院) (単位:円)

順位	疾病中分類	医療費
1	その他の呼吸器系の疾患	37,558
2	関節症	15,681
3	骨折	13,542
4	気分(感情)障害(躁うつ病を含む)	11,838
5	乳房の悪性新生物<腫瘍>	10,763
6	その他の消化器系の疾患	10,037
7	その他の心疾患	7,069
8	その他の感染症及び寄生虫症	6,665
9	症状、徴候及び異常臨床所見・異常、検査所見で他に分類されないもの	6,490
10	その他の悪性新生物<腫瘍>	5,152

■【女性】疾病中分類別1人当たり年間医療費
(3年平均) (医科・外来+調剤) (単位:円)

順位	疾病中分類	医療費
1	腎不全	51,265
2	気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	29,363
3	糖尿病	22,101
4	乳房の悪性新生物<腫瘍>	21,746
5	高血圧性疾患	15,780
6	その他の眼及び付属器の疾患	13,935
7	結腸の悪性新生物<腫瘍>	12,751
8	脂質異常症	11,996
9	その他の消化器系の疾患	9,081
10	炎症性多発性関節障害	8,504

出典:KDB帳票No.43 疾病別医療費分析(中分類)(平成30年度~令和2年度)

■【男性】高額レセプト疾病中分類別1人当たり年間医療費（3年平均）（医科・入院）（単位:円）

順位	疾病中分類	医療費
1	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	27,856
2	その他の悪性新生物<腫瘍>	21,600
3	その他の消化器系の疾患	10,783
4	その他の循環器系の疾患	10,767
5	その他の心疾患	9,050
6	骨折	8,960
7	てんかん	8,488
8	脳梗塞	8,106
9	腎不全	7,937
10	動脈硬化（症）	7,914

■【男性】高額レセプト疾病中分類別1人当たり年間医療費（3年平均）（医科・外来+調剤）（単位:円）

順位	疾病中分類	医療費
1	腎不全	34,462
2	その他の悪性新生物<腫瘍>	19,332
3	胃の悪性新生物<腫瘍>	6,189
4	糖尿病	2,669
5	その他の眼及び付属器の疾患	2,139
6	白血病	1,485
7	肺炎	451
8	気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	411
9	その他損傷及びその他外因の影響	373
10	—	—

■【女性】高額レセプト疾病中分類別1人当たり年間医療費（3年平均）（医科・入院）（単位:円）

順位	疾病中分類	医療費
1	その他の呼吸器系の疾患	37,242
2	関節症	15,347
3	骨折	12,609
4	気分（感情）障害（躁うつ病を含む）	11,559
5	乳房の悪性新生物<腫瘍>	10,615
6	その他の消化器系の疾患	9,660
7	その他の心疾患	7,024
8	その他の感染症及び寄生虫症	6,665
9	症状、徴候及び異常臨床所見・異常、検査所見で他に分類されないもの	6,417
10	その他の悪性新生物<腫瘍>	4,523

■【女性】高額レセプト疾病中分類別1人当たり年間医療費（3年平均）（医科・外来+調剤）（単位:円）

順位	疾病中分類	医療費
1	腎不全	48,337
2	気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	27,457
3	乳房の悪性新生物<腫瘍>	14,909
4	結腸の悪性新生物<腫瘍>	9,529
5	その他の眼及び付属器の疾患	3,810
6	炎症性多発性関節障害	3,377
7	—	—
8	—	—
9	—	—
10	—	—

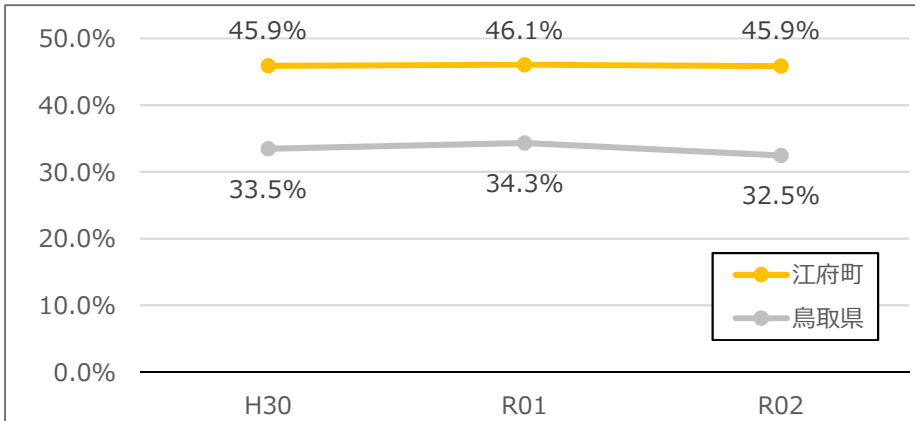
※1件あたり300,000円以上のレセプトを対象としている。

出典:KDB帳票No.10 基準額以上となったレセプト一覧（平成30年度～令和2年度）

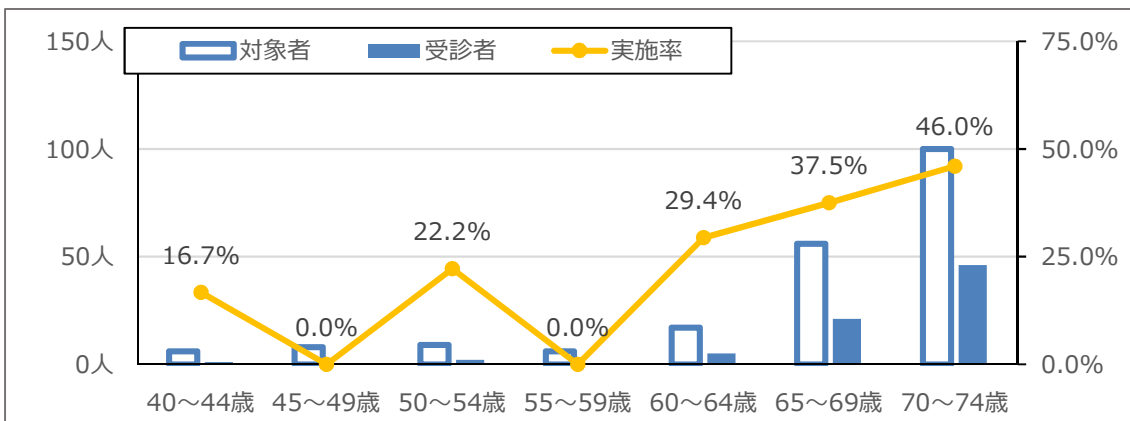
3. 特定健康診査・特定保健指導の状況

■ 特定健康診査実施率（年次推移）

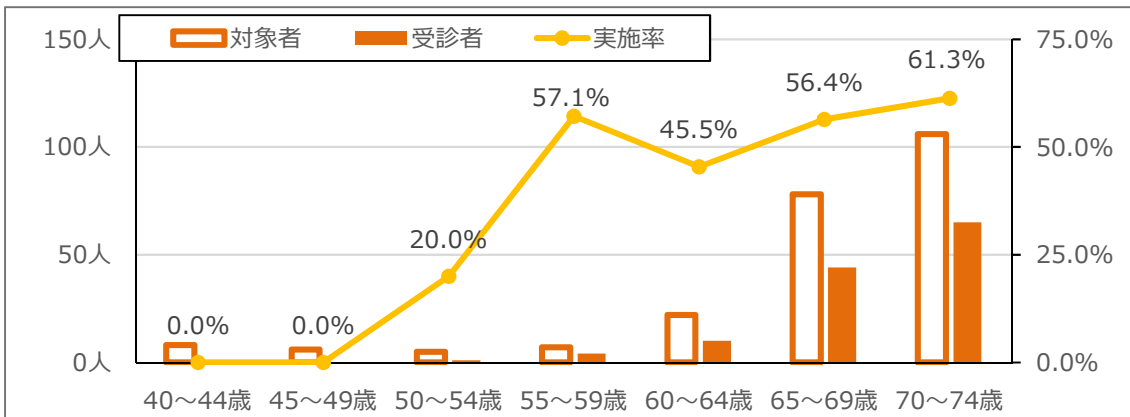
年度	対象者数	受診者数		(参考) 県実施率	(参考) 国実施率
		受診者数	実施率		
H30	473人	217人	45.9%	33.5%	37.9%
R01	445人	205人	46.1%	34.3%	38.0%
R02	434人	199人	45.9%	32.5%	-



【男性】年齢階層別特定健康診査実施率の状況（令和2年度）



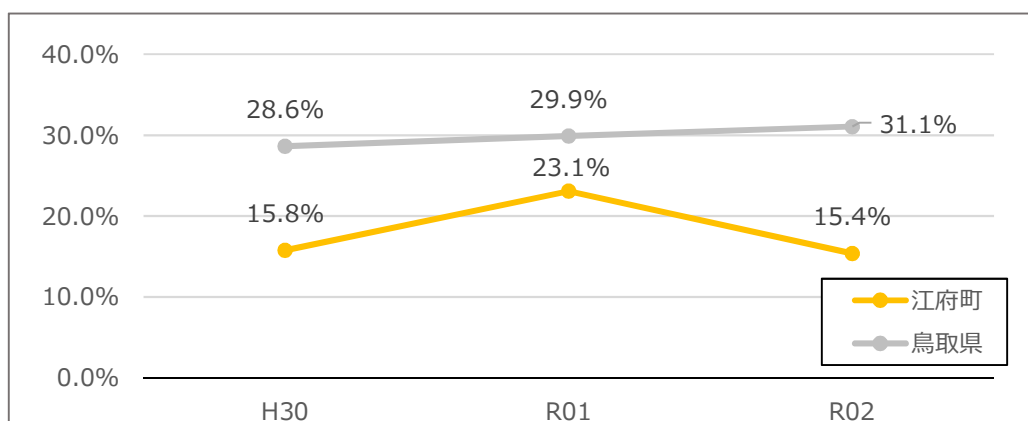
【女性】年齢階層別特定健康診査実施率の状況（令和2年度）



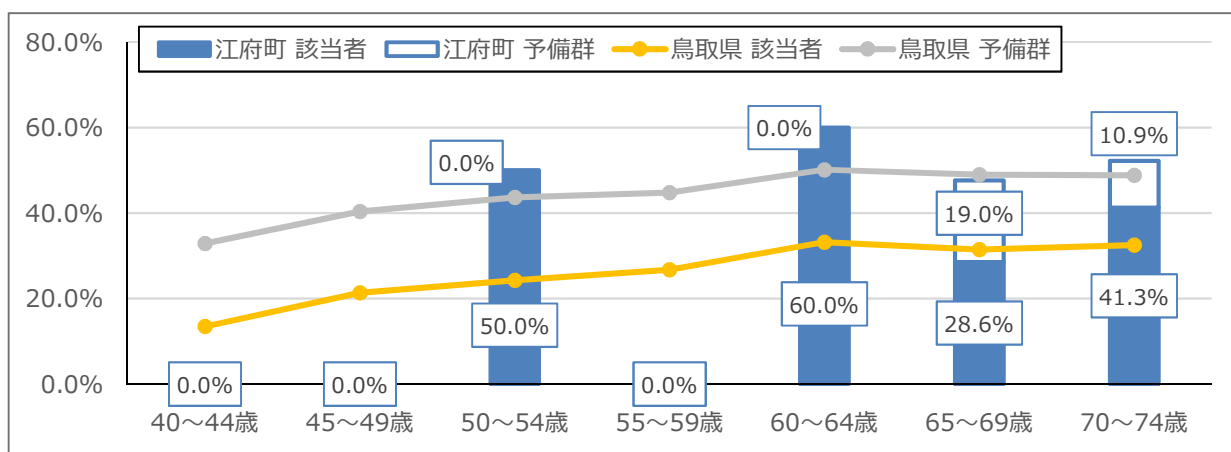
出典: 特定健診データ管理システム法定報告資料（各年度）
 国実施率は、厚生労働省の「特定健康診査・特定保健指導の実施状況」を参照

■ 特定保健指導実施率の年次推移（年次推移）

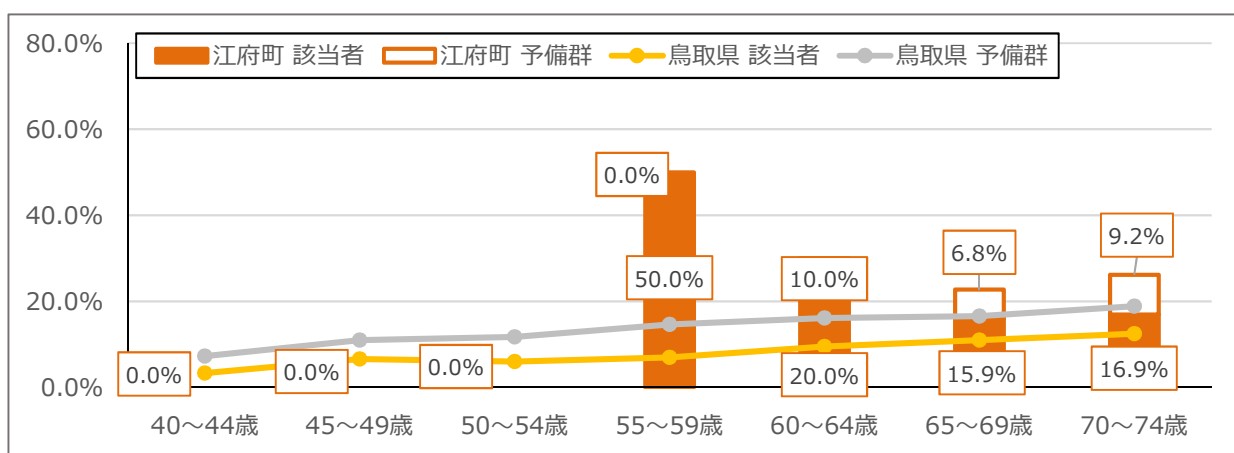
年度	対象者数	受診者数		(参考) 県実施率	(参考) 国実施率
		受診者数	実施率		
H30	19人	3人	15.8%	28.6%	28.8%
R01	13人	3人	23.1%	29.9%	29.3%
R02	13人	2人	15.4%	31.1%	-



■ 【男性】年齢階級別メタボリックシンドローム該当者・予備群の割合（令和2年度）

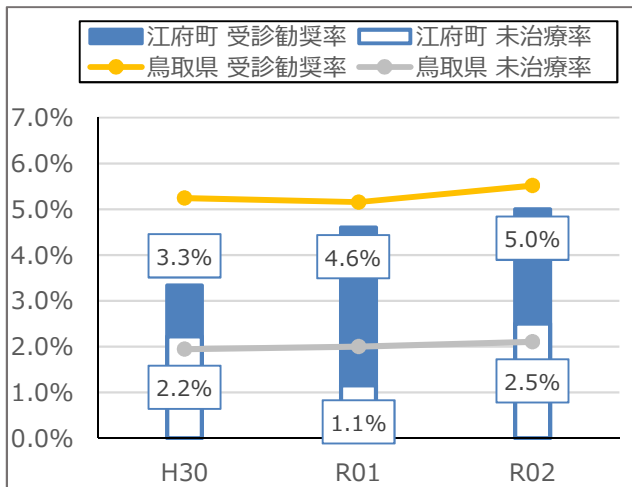


■ 【女性】年齢階級別メタボリックシンドローム該当者・予備群の割合（令和2年度）

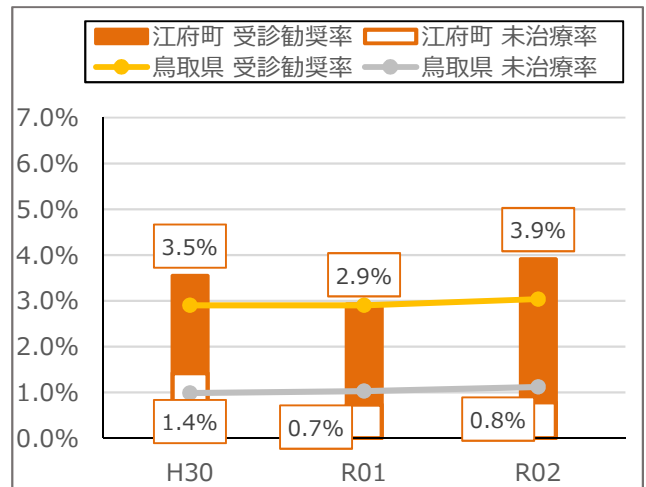


出典：特定健診データ管理システム法定報告資料（各年度）
 国実施率は、厚生労働省の「特定健康診査・特定保健指導の実施状況」を参照

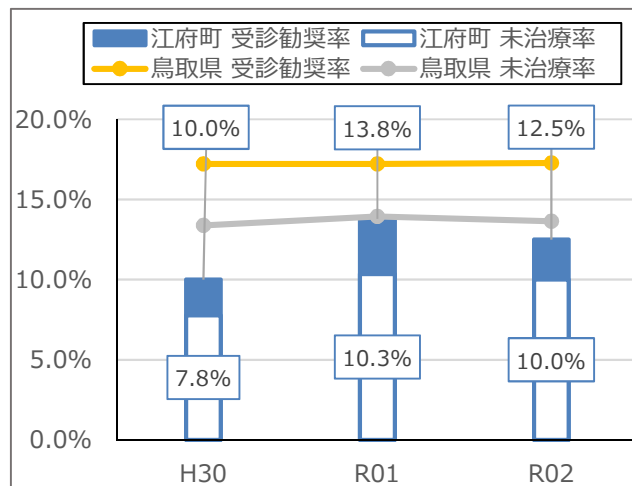
■【男性】（血糖）特定健診異常値未治療者の割合（年次推移）



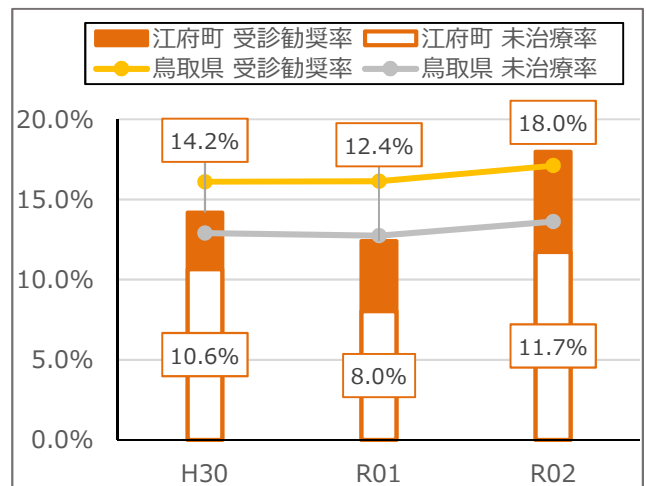
■【女性】（血糖）特定健診異常値未治療者の割合（年次推移）



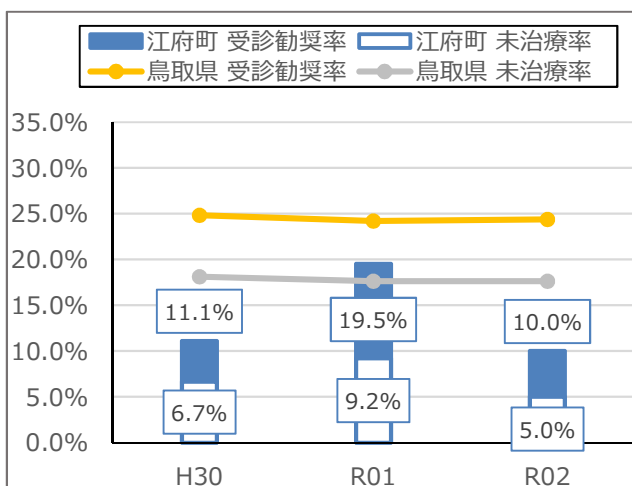
■【男性】（血圧）特定健診異常値未治療者の割合（年次推移）



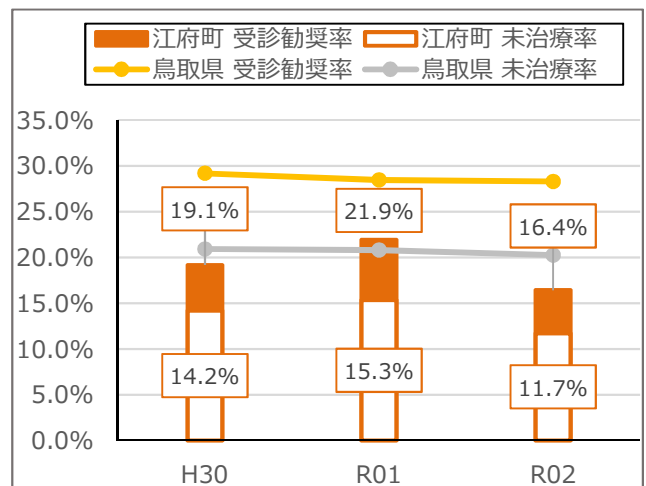
■【女性】（血圧）特定健診異常値未治療者の割合（年次推移）



■【男性】（脂質）特定健診異常値未治療者の割合（年次推移）



■【女性】（脂質）特定健診異常値未治療者の割合（年次推移）

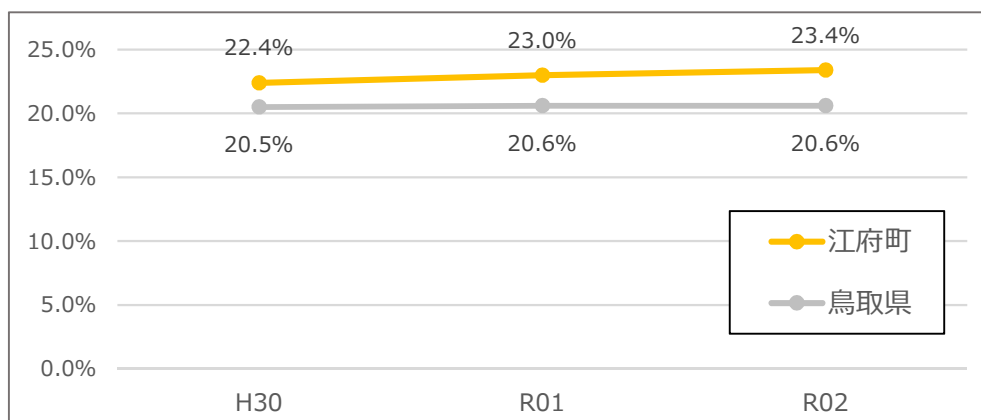


※受診勧奨率：特定健診の結果、医療受診が必要となった者の割合

出典：KDB帳票No.76 介入支援対象者一覧表（栄養・重症化予防等）（平成30年度～令和2年度）

4. 介護の状況

■ 要介護認定率（年次推移）



■ 要介護度別1件当たりの介護給付費 （令和2年度）

（単位:円）

要介護度別	江府町	鳥取県
要支援1	9,596	10,178
要支援2	15,030	14,136
要介護1	59,073	48,280
要介護2	71,590	57,060
要介護3	108,526	91,754
要介護4	127,325	129,106
要介護5	165,271	147,766

■ 要介護・要支援認定者の疾病別有病状況 （令和2年度）

疾病名	江府町		鳥取県有病率
	有病率	順位	
糖尿病	18.1%	7	23.7%
高血圧	55.0%	3	52.3%
脂質異常症	37.9%	5	31.6%
心臓病	62.1%	1	62.1%
脳疾患	31.5%	6	27.4%
がん	18.0%	8	10.9%
筋・骨格	58.3%	2	53.6%
精神	40.1%	4	41.0%

出典：KDB帳票No.1 地域の全体像の把握 各年度(累計)

5. まとめ

医療費の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・入院医療費、外来医療費ともに県平均より高く、特に外来医療費は県内で最も高い。(P.11) ・男女ともに新生物の外来医療費が県平均より高く、特に女性の外来医療費が非常に高い。 ・男女ともに糖尿病、高血圧性疾患、脂質異常症の外来医療費が県平均よりも高い。また、女性は腎不全の外来医療費が県平均より非常に高い。 ・歯科の受診率及び医療費が県平均よりも高く、県内で上位に入る。(P.18)
特定健康診査・ 特定保健指導の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・特定健診実施率は県平均よりも高いが、保健指導実施率は県平均より低い。 ・男女とも血圧、血糖の有所見者割合が低く、中でも男性は県内で最も低い。(P.35-38)
介護の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・要介護認定率が県内で最も高く、3年連続で増加している。(P.46) ・要支援・要介護認定者がんの有病率は、県内で最も高い。(P.48) ・要介護認定時のロコモティブシンドローム要因疾患の有病率は、骨粗鬆症、関節リウマチ等、種々の神経変性疾患が高い。(P.51-52)
健康スコアリングから 見える課題、助言等	<ul style="list-style-type: none"> ・各生活習慣のスコアは比較的良好なもの、肥満、脂質、肝機能リスクが県内で最も高いため、飲酒を含めた食事習慣に関する事業を検討することが必要であると考える。(P.54-55)

巻末資料 一 用語の説明、算出方法

項目		用語の説明
説明① (P.3)	国保加入率	国保被保険者数÷人口×100
	国保加入者平均年齢	国保被保険者の年齢の合算値÷国保被保険者数
	高齢化率	65歳以上の人口割合
	産業構成	1次産業（農林漁業等）・2次産業（鉱業、建築、製造業等） 3次産業（サービス業等）
説明② (P.8)	ジェネリック医薬品 数量シェア	後発医薬品（ジェネリック医薬品）は、先発医薬品と治療学的に同等であるものとして製造販売が承認され、一般的に研究開発に要する費用が低く抑えられることから、先発医薬品に比べて薬価が安くなっているため、患者負担の軽減や医療保険財政の改善を目的とし、後発医薬品を普及させる取組みが勧められている。 [数量シェア]=[後発医薬品の数量] ÷([後発医薬品のある先発医薬品の数量]+[後発医薬品の数量])
説明③ (P.9)	1人当たり医療費	被保険者1人当たりの医療費を算出している。（当該疾病に罹患した患者が当該治療のために要した医療費（患者1人当たり）を示しているものではない） 医療費÷被保険者数
説明④ (P.12)	疾病分類別医療費 （最大医療資源）	本データ集で主に使用しているKDBシステムの疾病分類は、医科と調剤レセプトを突合し、診療行為、特定器材、調剤費等の合計点数が最も高い病名を使用し、疾病分類を行っている。 【参考】疾病大分類に対する主な疾病中分類は表外参照
説明⑤ (P.28)	特定健診実施率	特定健康診査受診者数÷特定健康診査対象者数
説明⑥ (P.30)	特定保健指導実施率	特定保健指導の終了者÷特定保健指導の対象者数
	特定保健指導の利用率	特定保健指導の利用者÷特定保健指導の対象者数
	特定保健指導の支援完了率	特定保健指導の終了者数÷特定保健指導の利用者数
説明⑦ (p.34)	メタボリックシンドローム 該当者・予備群	腹囲が男85cm以上、女90cm以上で、①～③のリスクが2つ以上該当する者を該当者、1つ該当する者を予備群とする。 ①空腹時血糖が110mg/dl以上 （空腹時血糖値が存在しない場合、HbA1c6.0以上） （平成30年度以降は、空腹時血糖値およびHbA1cが存在しない場合、 随時血糖が110mg/dl以上） または糖尿病の服薬あり ②脂質が中性脂肪150mg/dl以上またはHDLコレステロール40mg/dl未満 または脂質異常症の服薬あり ③血圧が収縮期130mmHg以上または拡張期85mmHg以上 または高血圧症の服薬あり
説明⑧ (P.35)	標準化比	標準化比が100よりも大きいと、比較先（県平均）よりも医療費（または有所見者割合、有病状況など）が高いことを示す。 標準化比の計算例=(自市町村の1人当たり医療費) ÷(県が自市町村の性・年齢構成と同じ場合の1人当たり医療費)
	有意な差 (p<0.05)	比較先（県）との差が、偶然によるものか、有意な差（有意差）があるかを判断する。 一般的にはp値（有意確率）が0.05未満の場合、同じ結果が偶然に発生する確率は低いと考え、統計学的に有意な差（有意差）があるものとみなす。
説明⑨ (P.35)	収縮期血圧の有所見者	健診受診者の内、収縮期血圧が130mmHg以上の者。

項目		用語の説明
説明⑩ (P.37)	空腹時血糖の有所見者	健診受診者の内、空腹時血糖が100mg/dl以上の者。
説明⑪ (P.39)	喫煙者	特定健康診査質問票の「現在、たばこを習慣的に吸っている」に「はい」と回答した者。
説明⑫ (P.41)	運動習慣なし	特定健康診査質問票の「1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施」に「いいえ」と回答した者。
説明⑬ (P.43)	毎日飲酒	特定健康診査質問票の「お酒（清酒、焼酎、ビール、洋酒など）を飲む頻度」に「毎日」と回答した者。
説明⑭ (P.45)	服薬者	特定健康診査質問票の「現在、薬の使用の有無（医師の診断・治療のもとで服薬中の者を指す）」について、それぞれ①～③の質問に「はい」と回答した者。 ①血圧「血圧を下げる薬」 ②脂質「コレステロール（中性脂肪も同様に取扱う）を下げる薬」 ③血糖「インスリン注射又は血糖を下げる薬」
説明⑮ (P.49)	ロコモティブシンドローム要因疾患の有病率	国保被保険者の新規要介護認定者のうち、認定日以前からロコモティブシンドローム要因疾患を有しているかをレセプトから判断して算出する。 有病率 = 有病者数(認定日以前に要因疾患のレセプト有) ÷ 新規要介護認定者数
説明⑯ (P.53)	性・年齢調整	生活習慣病をはじめとする各疾病は、性別や年齢の違いから大きな影響を受ける。そのため、自市町村と県平均値などを比較するときに、県が自市町村と同じ性別・年齢構成だった場合に期待される医療費を踏まえた計算を言う。

【参考】疾病病大分類に対する主な疾病中分類

疾病大分類		主な疾病中分類
1	感染症及び寄生虫症	結核、ウイルス性肝炎 等
2	新生物<腫瘍>	気管、気管支及び肺の悪性新生物、乳房の悪性新生物、その他の悪性新生物 等
3	血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	貧血 等
4	内分泌、栄養及び代謝疾患	糖尿病、脂質異常症、その他の内分泌、栄養及び代謝障害 等
5	精神及び行動の障害	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害、気分（感情）障害（躁うつ病を含む） 等
6	神経系の疾患	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群、その他の神経系の疾患 等
7	眼及び付属器の疾患	結膜炎、白内障、その他の眼及び付属器の疾患 等
8	耳及び乳様突起の疾患	外耳炎、中耳炎、メニエール病 等
9	循環器系の疾患	高血圧性疾患、虚血性心疾患、その他の心疾患、脳梗塞 等
10	呼吸器系の疾患	喘息、その他の呼吸器系の疾患 等
11	消化器系の疾患	胃潰瘍及び十二指腸潰瘍、その他の消化器系の疾患 等
12	皮膚及び皮下組織の疾患	皮膚及び皮下組織の感染症、皮膚炎及び湿疹 等
13	筋骨格系及び結合組織の疾患	炎症性多発性関節障害、関節症 等
14	尿路性器系の疾患	腎不全、尿路結石症 等
15	妊娠、分娩及び産じょく	流産、妊娠高血圧症候群 等
16	周産期に発生した病態	その他の周産期に発生した病態
17	先天奇形、変形及び染色体異常	心臓の先天奇形 等
18	症状、徴候及び異常臨床検査所見で他に分類されないもの	症状、徴候及び異常臨床所見・異常、検査所見で他に分類されないもの
19	損傷、中毒及びその他の外因の影響	骨折、熱傷及び腐食 等